1 準備編

2 使ってみよう編

3 応用編

4 各種設定編

5 接続編

DIGITAL CAMERA FinePix F455

使用説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルムデジタルカメラ
ファインピックス F455の使い方がまとめられています。
内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。
http://www.fujifilm.co.jp/または http://www.finepix.com/

BL00434-100(1) J

目　次

はじめに……………………………… 4
カメラの特長/付属品……………… 5
各部の名称…………………………… 6
ストラップの取り付け……………… 7
ストラップの使い方………………… 7
液晶モニターの文字表示例………… 8
■静止画撮影モード………………… 8
■再生モード………………………… 8

1 準備編

バッテリーとメディアを入れる……… 9
使用するバッテリー………………… 9
使用する xD-ピクチャーカード™（別売）…… 9
バッテリーを充電する（クレードル使用）… 11
電源のON/OFF………………………… 12
日時の設定…………………………… 12
日時の修正…………………………… 13
日付の並び順の変更………………… 13
バッテリー残量の確認……………… 14

2 使ってみよう編

基本操作ガイド……………………… 15

静止画モード

静止画を撮影してみましょう（Aオート撮影）… 17
ファインダー撮影について………… 19
ファインダーランプ表示について… 19
撮影可能枚数について……………… 20
■ xD-ピクチャーカード 標準撮影枚数…… 20
AF/AEロック撮影…………………… 21
ズーム撮影（光学ズーム、デジタルズーム）… 22
ベストフレーミング………………… 22

再生モード

画像を見るには（再生）…………… 23
1コマ再生、画像の選択、マルチ再生…… 23
再生ズーム…………………………… 24
画像を消すには（1コマ消去）……… 25
画像を見るには（クレードルで再生）…… 26

3 応用編

◆静止画

静止画機能

撮影～設定手順……………………… 27
マクロ（近距離）…………………… 28
ストロボ……………………………… 29
AUTO オートストロボ（表示なし）…… 29
赤目軽減ストロボ…………………… 29
強制発光ストロボ…………………… 30
ストロボ発光禁止…………………… 30
スローシンクロ……………………… 30
赤目軽減＋スローシンクロ………… 30

F フォトモード 静止画撮影

ピクセル（静止画の記録画素数）…… 31
静止画撮影モードのピクセル設定…… 31
感度…………………………………… 32
FinePixカラー……………………… 33

静止画メニュー

静止画メニューの操作(必ずお読みください)… 34
静止画メニュー……………………… 35
セルフタイマー……………………… 35
撮影モード…………………………… 36
Mマニュアル………………………… 36
Aオート……………………………… 36
人物…………………………………… 36
風景…………………………………… 36
スポーツ……………………………… 36
夜景…………………………………… 36
アカルサ（露出補正）……………… 37
ホワイトバランス（光源選択）…… 37

◆再生

再生メニュー

消去（1コマ、全コマ） 38
プロテクト（設定/解除、全コマ設定、全コマ解除） 40
オートプレイ（自動再生） 42
ボイスメモ録音 43
ボイスメモ再生 45
■ボイスメモ再生操作方法 45
トリミング 46

フォトモード 再生

プリント予約（DPOF）について 48
プリント予約（1コマ設定、解除、日付の有無） 49
予約全解除 51

◆動画

動画モード

動画を撮影してみましょう（動画撮影） 52
撮影可能時間について 53
■ xD-ピクチャーカード 標準撮影時間 53

フォトモード 動画撮影

ピクセル（動画の記録画素数） 54
動画モードのピクセル設定 54

再生モード

動画を見るには（動画再生） 55
■動画再生操作方法 55

1

4 各種設定編

LCD（液晶モニター明るさ）調節、音量調節 56
SET-UP（セットアップ） 57
SETセットアップ画面の操作 57
■SET-UPメニュー一覧 58
パワーセーブ（省電力設定） 59
フォーマット（xD-ピクチャーカード の初期化） 59
世界時計（時差の設定） 60
コマNO.（コマNO.メモリー） 61

2

5 接続編

テレビに接続する（クレードル使用） 62
パソコンと接続する（クレードル使用） 63
カードリーダー接続方法 64
パソコンと接続を切るには（必ず行ってください） 66
WEB カメラ接続方法 67
カメラとプリンターを直接つないでプリントする（PictBridge機能） 69
カメラでプリント予約（DPOF）の設定をしてプリントする 69
プリント予約（DPOF）を使わず、コマを指定してプリントする（1コマプリント） 70

3

4

5

システムアップ機器（別売） 73
その他 別売アクセサリーの紹介 74
使用上のご注意 75
電源についてのご注意 75
バッテリー NP-40についてのご注意 75
ACパワーアダプターについてのご注意 76
海外へお持ちになる方へ 76
xD-ピクチャーカード™についてのご注意 77
警告表示 78
困ったときは 80
主な仕様 82
用語の解説 84
アフターサービスについて 85

はじめに

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録された xD-ピクチャーカード の転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：
  付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：
  きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：
  水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。
  使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

■製品の取り扱いについて

本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について

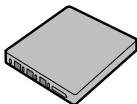
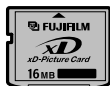
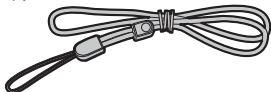
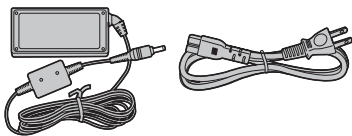
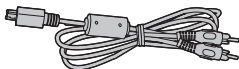
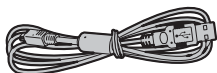
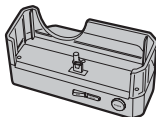
- xD-Picture Card、xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™は富士写真フイルム（株）の商標です。
- Macintosh、iMac、iBook、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

カメラの特長/付属品

カメラの特長

●FinePix Photo mode（ファインピックスフォトモード）
静止画撮影中にフォトモード“*F*”ボタンを押すと、ピクセル（記録画素数）、感度やFinePixカラーの設定画面を直接呼び出すことができ、簡単に設定の変更が可能です。
再生中に押すと、プリント予約（DPOF）の設定ができ、プリントするコマや枚数を簡単に設定することが可能です。

付属品

●充電式バッテリー NP-40（1個）
ソフトケース付き

● xD-ピクチャーカード 16MB（1枚）
付属品：専用ケース（1個）

●ストラップ（1本）

●ACパワーアダプター AC-5VW（1式）
接続コード：全長約2.2m

●FinePix F455専用
A/V（音声/映像）ケーブル（1本）
約1.2m

●FinePix F455専用USBケーブル（1本）
約1.2m

●クレードル（1台）
（ピクチャー・クレードル）

●CD-ROM（1枚）
Software for FinePix AX

●使用説明書（本書1部）

●ソフトウェア取扱ガイド（1部）

●安全上のご注意（1部）

●保証書（1部）

各部の名称

＊(　)内のページに詳しい説明があります。

【モードスイッチ】

撮影モード(P.17)
動画モード(P.52)
再生モード(P.23)

ファインダーランプ(P.19)

ファインダー

液晶モニター(LCD)

スピーカー

クレードル接続端子

三脚用ねじ穴

◀／(マクロ)ボタン(P.28)

▲／(望遠ズーム)レバー
(P.15、22)

▼／(広角ズーム)レバー
(P.15、22)

▶／(ストロボ)ボタン
(P.29)

フォトモード(*F*)ボタン
(P.15)

ストラップ取り付け部

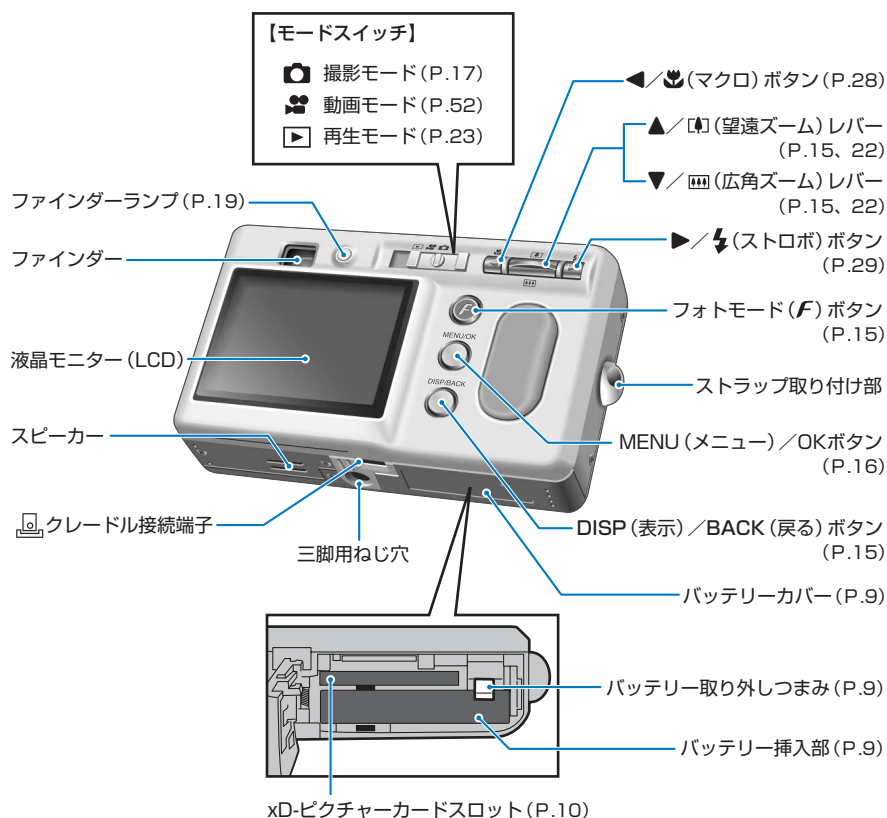
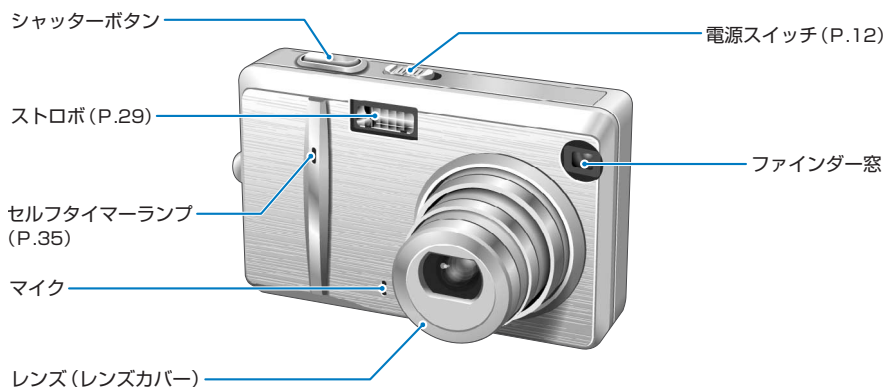
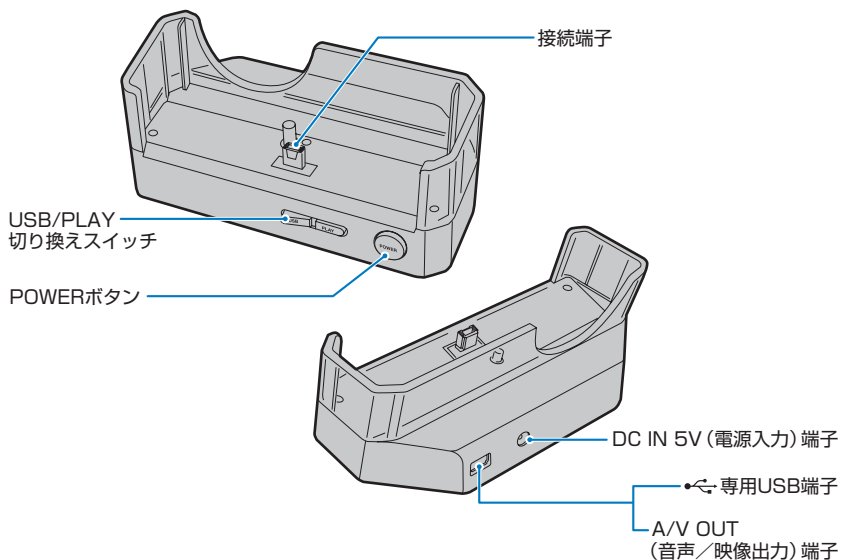
MENU(メニュー)／OKボタン
(P.16)

DISP(表示)／BACK(戻る)ボタン
(P.15)

バッテリーカバー(P.9)

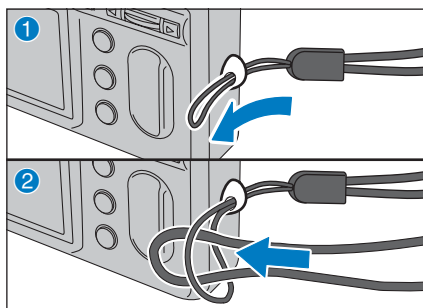
バッテリー取り外しつまみ(P.9)

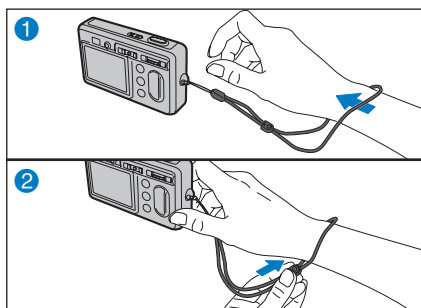
バッテリー挿入部(P.9)

xD-ピクチャーカードスロット(P.10)

◆クレードルについて◆

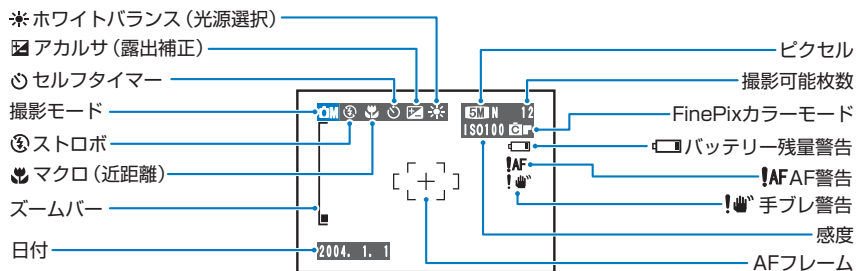
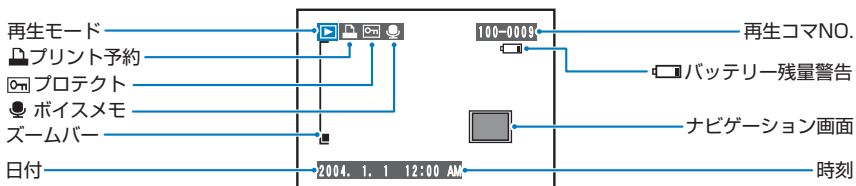
クレードルを使用すると次のようなときに便利です。
- カメラを使用しないときにセットしておけばバッテリーの充電ができます（➡11ページ）。
- テレビで画像を見ることができます（➡62ページ）。
- USBインターフェース接続でパソコンと高速なファイル転送ができます（カードリーダー機能➡64ページ）。
- インターネットを経由したテレビ電話ができます（WEB カメラ機能➡67ページ）。

ACパワーアダプター、専用A/V（音声/映像）ケーブル、専用USBケーブルの接続が必要です。

ストラップの取り付け

❶❷の順にストラップを取り付けます。

ストラップの使い方

❶ストラップに手首を通します。
❷長さ調節止め具をスライドし、落とさないように手首に固定します。

液晶モニターの文字表示例

■静止画撮影モード

■再生モード

◆ガイダンス(案内)表示について◆

液晶モニター下部に、次のステップに進むためのガイダンス(案内)が表示されますので、対応するボタンを押してください。

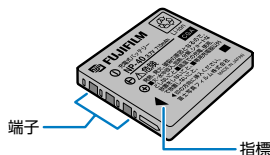
OK 実行 BACK やめる

消去するには "MENU/OK" ボタンを、やめるには "DISP/BACK" ボタンを押します。

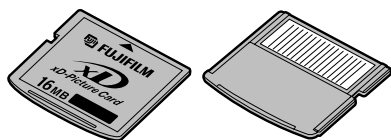
バッテリーとメディアを入れる

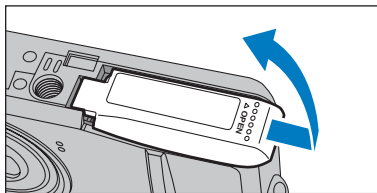
使用するバッテリー

必ず専用の充電式バッテリー NP-40をお使いください。
弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。

●充電式バッテリー NP-40　1個

- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- カメラから取り外したバッテリーの保管、運搬は付属のケースに入れて行ってください。バッテリーの端子間を短絡させると、発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は75ページをご参照ください。

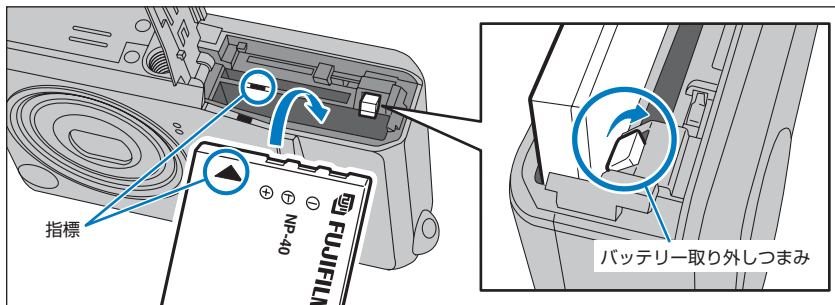
使用する xD-ピクチャーカード™(別売)

●DPC-16(16MB)
●DPC-32(32MB)
●DPC-64(64MB)
●DPC-128(128MB)
●DPC-256(256MB)
●DPC-512(512MB)

- 本カメラでの動作保証は弊社製 xD-ピクチャーカード のみとなります。
- xD-ピクチャーカード は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- xD-ピクチャーカード についてのご注意は77ページをご参照ください。

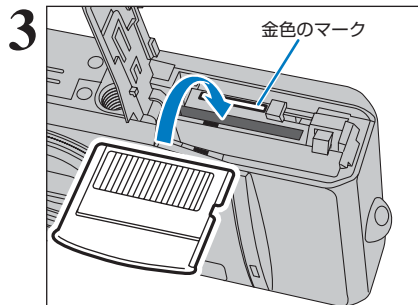
1

電源が切れていること(ファインダーランプが消灯していること)を確認してから、バッテリーカバーを開けます。

- 電源が入った状態でバッテリーカバーを開けると、電源が切れます。
- バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。

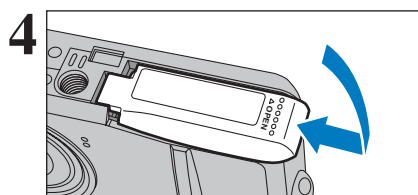
バッテリーカバーは、絶対に電源を入れたまま開けないでください。 xD-ピクチャーカード または画像ファイルなどが壊れることがあります。

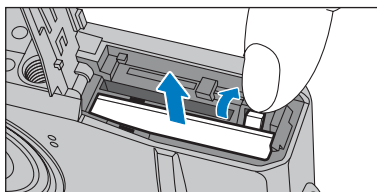
2

バッテリー取り外しつまみを押しのけるようにしてバッテリーを入れます。
バッテリーがきちんと固定されたことを確認します。

次ページにつづく

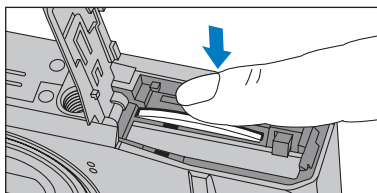
3

xD-ピクチャーカードスロットの金色のマークと、 xD-ピクチャーカード の金色の接触面を同じ向きに合わせて、確実に奥まで差し込みます。

xD-ピクチャーカード の向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。

4

バッテリーカバーを閉めます。

◆バッテリーを交換したいときは◆

バッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。

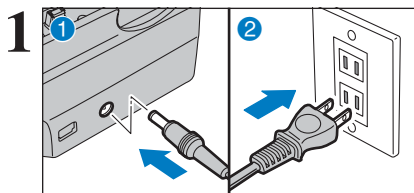
バッテリーを取り出すときは必ず電源を切ってください。

◆ xD-ピクチャーカード を交換したいときは◆

xD-ピクチャーカード を押し込んだあと静かに指を戻すと、ロックが外れて xD-ピクチャーカード が押し出されます。
押し出されたあと、 xD-ピクチャーカード を引き出すことができます。

xD-ピクチャーカード を保管するときは、専用ケースまたは専用キャリングケースに入れてください。

ロックが外れた直後に xD-ピクチャーカード から急に指を離すと、 xD-ピクチャーカード が飛び出す場合がありますのでご注意ください。

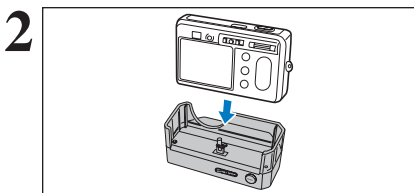
バッテリーを充電する（クレードル使用）

1

❶ACパワーアダプターの接続プラグをクレードルの“DC IN 5V”端子に差し込みます。
❷ACパワーアダプターの電源プラグをコンセントに差し込みます。

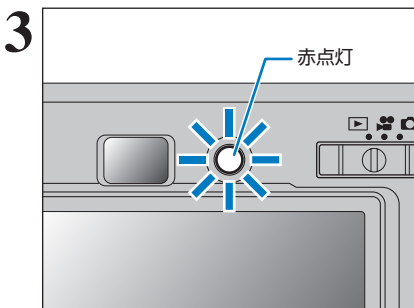
●使用可能なACパワーアダプター
付属品　　　：AC-5VW（推奨）
弊社製互換品：AC-5VH、AC-5VS、AC-5VHS

- 必ず弊社製品をご使用ください。
- ACパワーアダプターについてのご注意は76ページをご参照ください。
- 付属のACパワーアダプター（AC-5VW）は海外でも使用できます（➡76ページ）。
- カメラとACパワーアダプターを直接接続して充電することはできません。

2

カメラの電源を必ずOFFにしてから、カメラをクレードルにセットします。

- ACパワーアダプターの接続および取り外しは、カメラの電源が切れているときに行ってください。カメラの電源が一時的に切れるため、撮影中の画像、動画は記録されません。また、 xD-ピクチャーカード の破損やパソコン接続時誤作動の原因になります。
- クレードル接続端子にしっかりと差し込んでください。

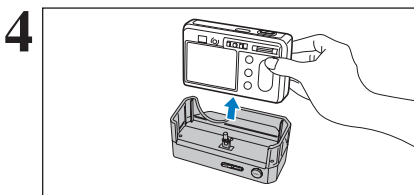
3

赤点灯

カメラのファインダーランプ［赤］が点灯し、バッテリーの充電が開始されます。
完了するとファインダーランプは消灯します。

●使い切ったバッテリーのフル充電時間
（環境気温＋21℃〜＋25℃のとき）
NP-40：約2時間

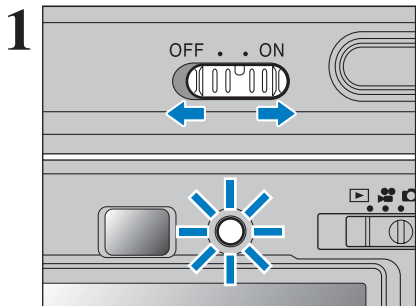
- 低温時は充電時間が長くなることがあります。
- 充電時にファインダーランプが点滅したときは、充電異常のため充電できません。その場合は80ページをご参照ください。
- 充電中に電源を入れると充電が中断されます。
- 別売のバッテリーチャージャー BC-65を使用すると充電時間を短縮できます（➡74ページ）。

4

カメラをクレードルから取り外します。

◆バッテリーの充電について◆

動画撮影やPC接続などで長時間連続して使用した直後に充電を行うと、すぐに充電が開始されない（ファインダーランプが赤点灯しない）場合があります。
これは故障ではなく、カメラが温かくなっているためにバッテリーの保護機能（高温充電による劣化防止）が作動したためです。
そのままクレードルにセットしておくと20分以内に自動で充電が開始されます。

電源のON/OFF、日時の設定

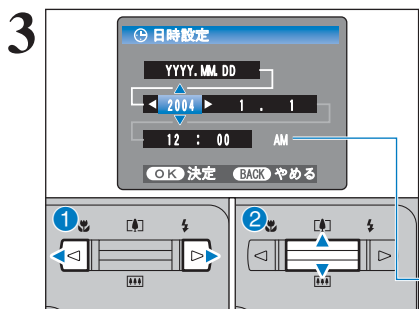
1

電源をON/OFFするには電源スイッチをスライドします。電源を入れるとファインダーランプ[緑]が点灯します。

“📷”撮影モードのときはレンズ部が動き、レンズカバーが開きます。精密部品のため、レンズ部を手で押さえないでください。
“フォーカスエラー”“ズームエラー”が表示され誤作動や故障の原因になります。
また、レンズに指紋がつかないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。

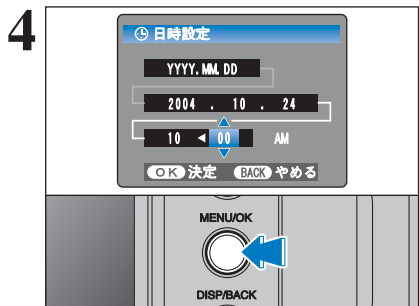
2

ご購入後初めて電源を入れると、日時がクリアされています。“MENU/OK”ボタンを押して日時を設定します。

- 確認画面（左図）が表示されない場合は、「日時の修正」（➡13ページ）を参照して、日時を確認、修正してください。
- バッテリーを取り外してカメラを長期間保管したときも確認画面が表示されます。
- あとで設定するときは“DISP/BACK”ボタンを押します。
- 日時を設定しないと電源を入れるたびに確認画面が表示されます。

3

❶“◀▶”で年、月、日、時、分を選びます。
❷“▲▼”で設定します。

- “▲”または“▼”を押し続けると数字が連続して変わります。
- 時刻表示で“12：00”を越えると、自動的にAM（午前）/PM（午後）が切り換わります。

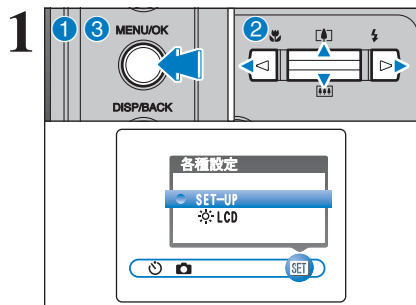
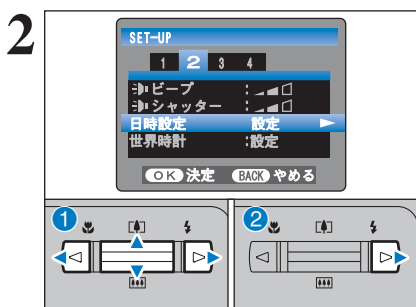
4

日時を設定したら、必ず“MENU/OK”ボタンを押します。
決定すると撮影または再生モードになります。

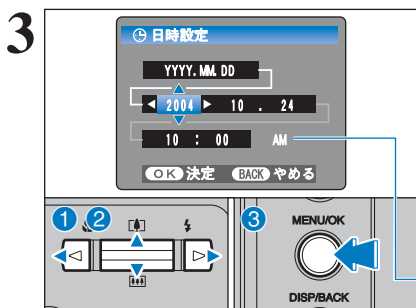
- ご購入時および長時間バッテリーを抜いて放置したあとは、日時設定などの各種設定がクリアされてしまいます。各種設定は、クレードルにセットまたはバッテリーを入れて約2時間以上経過していれば、カメラから両方とも取り外しても、約6時間保持されます。
- 電源スイッチをOFFにしたあと、すぐにONにしても電源が入らない場合があります。
電源スイッチをOFFにしたあと、ファインダーランプ[緑]が消灯してからONにしてください。

日時の修正、日付の並び順の変更

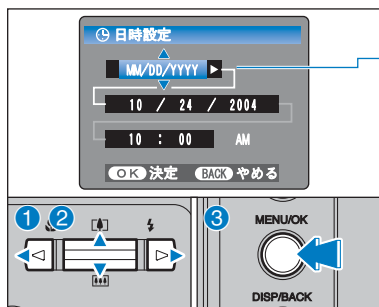
1

❶“MENU/OK” ボタンを押します。
❷“◀▶” で “SET” 各種設定を選び、“▲▼” で “SET-UP” を選びます。
❸“MENU/OK” ボタンを押します。

2

❶“◀▶” で見出し番号2に切り換え、“▲▼” で “日時設定” を選びます。
❷“▶” を押します。

3

日時を修正するには

❶“◀▶” で年、月、日、時、分を選びます。
❷“▲▼” で設定します。
❸設定が終了したら、必ず “MENU/OK” ボタンを押します。

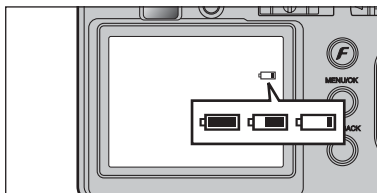
● “▲” または “▼” を押し続けると数字が連続して変わります。
● 時刻表示で “12：00” を越えると、自動的にAM（午前）/PM（午後）が切り換わります。

日付の並び順を変更するには

❶“◀▶” で “日付の並び順” を選びます。
❷“▲▼” で並び順を設定します。設定については下記の表を参照してください。
❸設定が終了したら、必ず “MENU/OK” ボタンを押します。

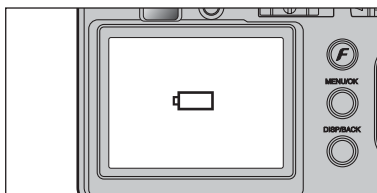
日付の並び順	説　明
YYYY.MM.DD	「年.月.日」の順に並びます。
MM/DD/YYYY	「月／日／年」の順に並びます。
DD.MM.YYYY	「日.月.年」の順に並びます。

バッテリー残量の確認

電源を入れ、液晶モニターにバッテリー残量警告（ 、 、 ）が表示されていないことを確認します。

1 バッテリーの残量は十分です（電源ONやモード切り換え時に約3秒間のみ表示）。
2 バッテリーの残量は約半分以下です（電源ONやモード切り換え時に約3秒間のみ表示）。
3 バッテリーの残量が不足しています。まもなく電源が切れますので、バッテリーを交換するか充電をおすすめします。
4 バッテリーの残量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。バッテリーを交換するか充電をしてください。

“ 、 、 ”は液晶モニターの右端に小さく表示されます。

上記は撮影モードでの目安です。モードによっては“ ”から“ ”になるまでの時間が短くなることがあります。

温度が低いところで使用したとき、バッテリーの特性上バッテリー残量不足の表示が早く出る場合があります。故障ではありません。バッテリーをポケットなどで温めて使用することをおすすめします。

“ ”は液晶モニターに大きく表示されます。

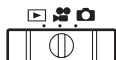
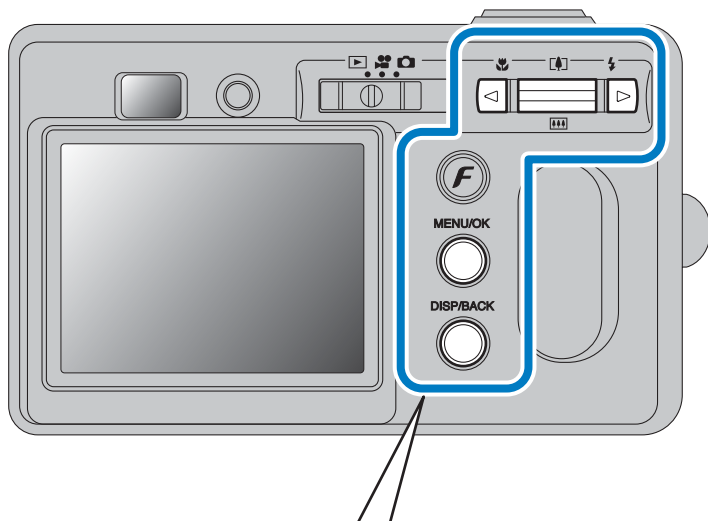
残量のないバッテリー（ 赤点滅）は、レンズが収納されないで電源が切れるなど故障の原因となるため、必ず充電をしてから使用してください。

◆パワーセーブ機能◆

機能有効時は、約60秒間操作をしないと液晶モニターが消え（スリープ）、消費電力を抑えます（➡59ページ）。
2分間（5分間）操作しないと自動的に電源が切れます。電源を入れ直すには、いったん電源スイッチをスライドさせて入れ直します。

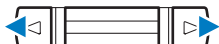
基本操作ガイド

準備編をお読みいただき、撮影の準備が終わっていることと思います。
使ってみよう編では、「撮る」➡「見る」➡「消す」という基本操作を説明していきます。

本カメラの機能について説明します。

次ページにつづく

メニューの操作

❶ **メニューの表示**
"MENU/OK" ボタンを押します。

MENU/OK

❷ **メニューの選択**
◀▶ボタンを押します。

❸ **設定の選択**
▲▼レバーを押します。

❹ **設定の決定**
"MENU/OK"ボタンを押します。

MENU/OK

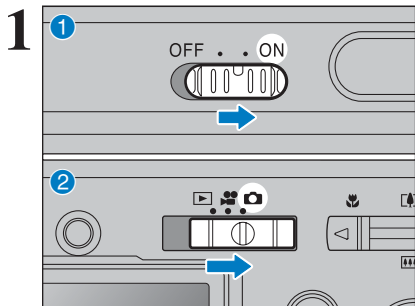
DISP/BACKボタン

操作を途中でやめるときなどに、
このボタンを押します。

DISP/BACK

使用説明書では、上、下、左、右を三角マークで表します。
上、下のときは "▲▼" となります。左、右のときは "◀▶" となります。

静止画モード 静止画を撮影してみましょう（📷Aオート撮影）

1

①電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
②モードスイッチを“📷”に合わせます。

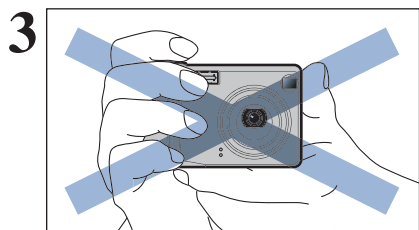
●撮影可能距離
約60cm〜無限遠（∞）

! 約60cmより近づいた場合にはマクロを設定してください（➡28ページ）。
! “カードエラー”“カードがありません”“空き容量がありません”“フォーマットされていません”が表示された場合は、78ページをご参照ください。

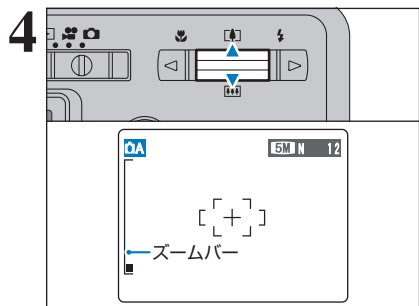
2

両脇を締め、両手でカメラを構えます。
右手の親指はズーム操作しやすい位置に置きます。

! 撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因になります。特に、暗い場所でストロボ発光禁止にして撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
! 液晶モニターの右端に明るさのムラがありますが、故障ではありません。撮影した画像には影響はありません。

3

レンズ、ストロボ、マイクに、指やストラップが掛からないようにしてください。指やストラップが掛かると、適正な明るさ（露出）で撮影ができないことがあります。

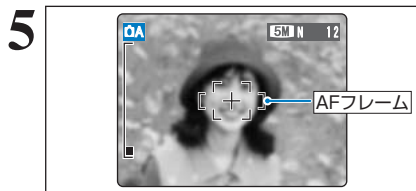
! レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は75ページを参照してレンズをきれいにしてください。
! 雪のときやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボ光が雪やほこりに反射して画像に白点が写ることがあります。ストロボ発光禁止での撮影をお試しください。

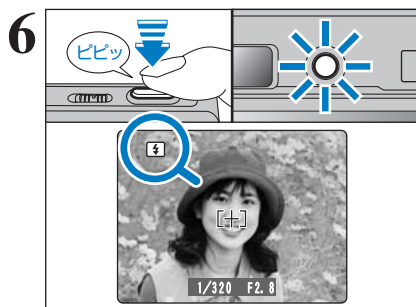
4

被写体を大きく写したいときは、“[T]（▲）”望遠ズームレバーを押します。広い範囲を写したいときは、“[W]（▼）”広角ズームレバーを押します。このとき液晶モニターに“ズームバー”が表示されます。

●光学ズーム焦点距離（35mmフィルム換算）
約38mm〜約130mm相当
最大ズーム倍率 3.4倍

! 光学ズームとデジタルズーム（➡22ページ）の切り換わり時は、いったんズームが止まります。もう一度同じ方向にズームレバーを押すと切り換わります。

次ページにつづく

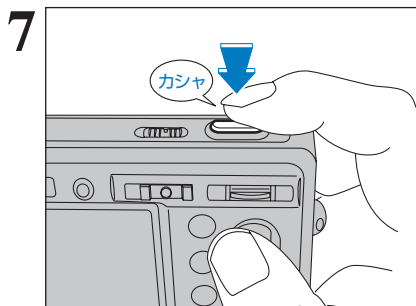
5

液晶モニターを使って、被写体がAF（オートフォーカス）フレーム全体を満たすようにねらいます。

- 撮影前に液晶モニターで見る画像と実際に記録される画像は、明るさや色などが異なる場合があります。必要に応じて、再生してご確認ください（➡23ページ）。
- 明るい屋外や薄暗いシーンなどでは、液晶モニターで被写体が確認しにくいことがあります。その場合、ファインダーの使用をおすすめします。

6

シャッターボタンを半押しすると、“ピピッ”と音が鳴りピントが合います。そのとき液晶モニターのAFフレームが小さくなります（ファインダーランプ［緑］は点滅から点灯に変わります）。

- “ピピッ”と音が鳴らずに液晶モニターに“!AF”が表示されたときは、ピントが合っていません。
- シャッターボタンを半押しすると、一時的に液晶モニターの映像が止まりますが記録される画像とは異なります。
- “!AF”が表示された場合（暗くてピントが合わないなど）、被写体から2m程度離れて撮影してください。
- ストロボは数回発光します（予備発光、本発光）。

ストロボが発光するときは、液晶モニターに“⚡”が表示されます。

7

半押しのままさらにシャッターボタンを押し込む（全押し）と、“カシャ”と音が鳴り撮影されます。続いて画像が記録されます。

- シャッターボタンを押した瞬間から、一瞬遅れて撮影されますので、必要に応じて再生してご確認ください。
- シャッターボタンをいっきに全押しするとAFフレームは変化せず、そのまま撮影されます。
- 撮影するとファインダーランプが橙色に点灯し（撮影不可）、その後緑色に変わると撮影できます。
- ストロボ撮影をした場合、ストロボを充電するために映像が消えて黒い画面になることがあります。このときファインダーランプが橙色に点滅します。
- 警告表示については78、79ページをご参照ください。

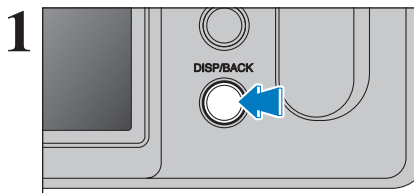
◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

このカメラは、正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件、被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わない状態で撮影されることがあります。

- 鏡、車のボディなど光沢があるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- 煙や炎などのように実体のないもの
- 被写体が暗いとき
- 高速で移動する被写体
- 被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 液晶モニター中央付近に主被写体の他に明暗差がはっきりしている被写体が手前や後方にあるとき（コントラストの強い背景の前の人物など）

このような場合はAF/AEロック（➡21ページ）をお使いください。

ファインダー撮影について

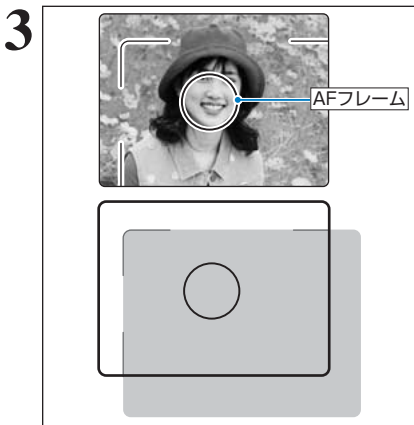
1

ファインダー撮影するときは"DISP/BACK"ボタンを押して液晶モニターをOFFにします（OFFにするとバッテリーが長持ちします）。

マクロ撮影時は液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

2

両脇を締め、両手でカメラを構えます。
右手の親指はズーム操作しやすい位置に置きます。

撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因になります。特に、暗い場所でストロボ発光禁止にして撮影する場合は手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

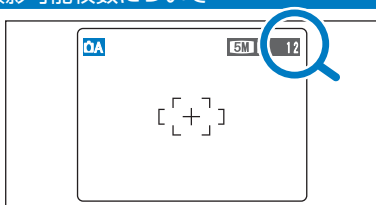
3

ファインダー中央のAFフレームで被写体をねらいピントを合わせます。
被写体までの距離が約60cm〜約1.5mの場合、図の■の範囲が撮影されます。

撮影範囲の中心を正確に合わせたい場合は、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

ファインダーランプ表示について

表　示	状　態
緑点灯	準備完了（撮影可能）
緑点滅	AF、AE動作中または手ブレ、AF警告（撮影可能）
緑、橙の交互点滅	xD-ピクチャーカード に記録中（撮影可能）
橙点灯	xD-ピクチャーカード に記録中（撮影不可）
橙点滅	ストロボ充電中（ストロボ発光しません）
緑点滅（1秒間隔）	パワーセーブ中（➡59ページ）
赤点灯	バッテリー充電中
赤点滅	● xD-ピクチャーカード についての警告 未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、空き容量がない、 xD-ピクチャーカード 異常 ● レンズ動作異常

＊液晶モニターに詳しい警告が表示されます（➡78、79ページ）。

撮影可能枚数について

液晶モニターに撮影可能枚数が表示されます。

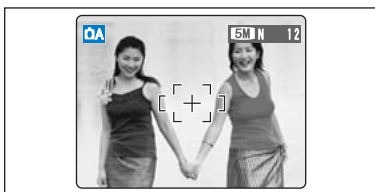
ピクセル設定の変更は31ページをご参照ください。
工場出荷時の“ ”ピクセルは“5M N”です。

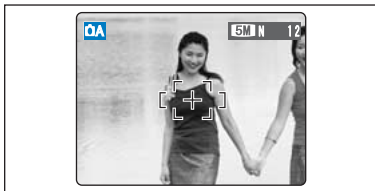
■ xD-ピクチャーカード 標準撮影枚数

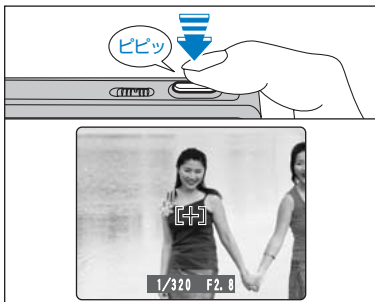
新しい xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットした状態で表示される標準的な枚数です。 xD-ピクチャーカード の容量が大きくなるほど標準的な枚数と、実際に表示される枚数に差が出ることがあります。
また、被写体によって記録されるデータ量が一定ではなく、減らなかったり、撮影枚数が2コマ減ったりします。そのため、実際に記録可能な枚数が多くなることや少なくなることがあります。

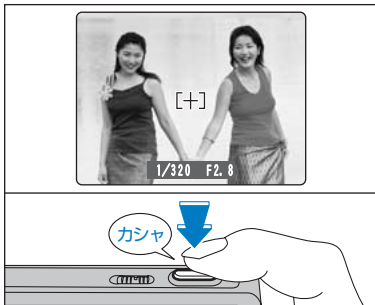
ピクセル	5M F	5M N	3M	2M	03M
記録画素数	2592×1944（約504万）		2048×1536（約315万）	1600×1200（約192万）	640×480（約31万）
DPC-16（16MB）	6	12	19	25	122
DPC-32（32MB）	12	25	40	50	247
DPC-64（64MB）	25	50	81	101	497
DPC-128（128MB）	51	102	162	204	997
DPC-256（256MB）	102	204	325	409	1997
DPC-512（512MB）	205	409	651	818	3993

AF/AEロック撮影

1

このような構図では被写体（この場合は人物）がAFフレームから外れています。このまま撮影すると人物にピントが合いません。

2

被写体がAFフレームに入るようにカメラを少し動かします。

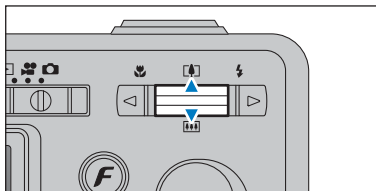
3

シャッターボタンを半押しすると、“ピピッ”と音が鳴りピントが合います。そのとき液晶モニターのAFフレームが小さくなります（ファインダーランプ［緑］は点滅から点灯に変わります）。

4

シャッターボタンを半押し（AF/AEロック）のまま最初の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押し込みます。

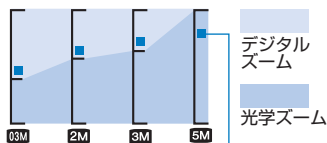
- AF/AEロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
- AF/AEロック撮影は、どのような撮影方法でも有効です。AF/AEロックをうまく活用しましょう。

◆AF（オートフォーカス）/AE（オートエクスポージャー）ロック◆

このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定（AF/AEロック）します。
液晶モニターの端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF/AEロックをしてから構図を変えて撮影するときれいに撮影できます。

ズーム撮影（光学ズーム、デジタルズーム）

“[T]（▲）”、“[W]（▼）” を押すとズームできます。
ピクセル（記録画素数）設定が “3M、2M、03M” の場合はデジタルズームできます。
光学ズームとデジタルズームを切り換える際に、いったんズームバーの “■” が停止します。もう一度同じ方向に押すと、“■” が動いて切り換わります。

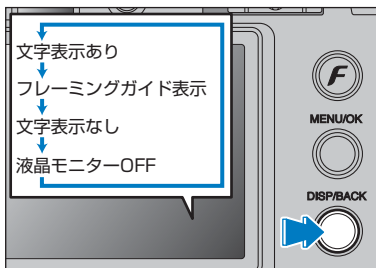
- “5M” ではデジタルズームはできません。
- ピクセル（記録画素数）設定の変更（➡31ページ）。
- ズームしてピントがずれた場合、シャッターボタンを半押ししてください。

ズームバー表示

ズームバーの “■” の位置でズームの状態が分かります。
区切りより下の場合は光学ズーム、区切りより上の場合はデジタルズームです。

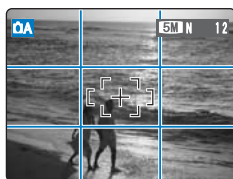
●光学ズーム焦点距離＊
約38mm〜約130mm相当
最大ズーム倍率 3.4倍

●デジタルズーム焦点距離＊
3M：約130mm〜約164mm相当
最大ズーム倍率 約1.3倍
2M：約130mm〜約211mm相当
最大ズーム倍率 約1.6倍
03M：約130mm〜約527mm相当
最大ズーム倍率 約4.1倍

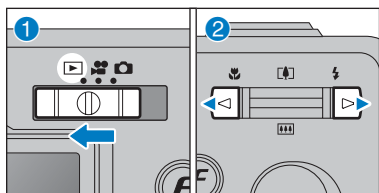
＊35mmフィルム換算

ベストフレーミング

静止画撮影モードで設定できます。
“DISP/BACK” ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。“DISP/BACK” ボタンを押して “フレーミングガイド” を表示します。

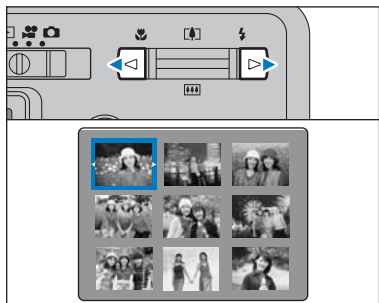
◆重要◆
必ずAF/AEロックを使って構図を決めてください。AF/AEロックをしないとピントが合わないことがあります。

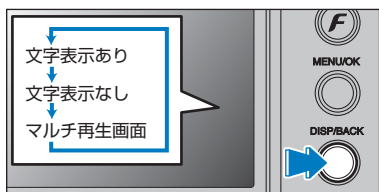
縦横3分割フレーム

主要な被写体を縦横の交点に配置したり、横のラインに地平線や水平線を合わせて使用します。
被写体の大きさやバランスを見ながら、意図的な構図で撮影できます。

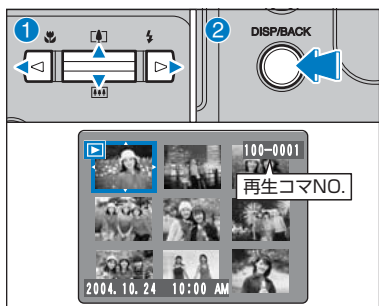
- フレーミングガイドは画像に記録されません。
- 縦横3分割フレームのラインは、縦横の記録画素数の3分割の目安です。プリントすると3分割の位置から少しずれる場合もあります。

画像を見るには（▶再生）

1コマ再生

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“▶”順送り、“◀”逆送りで画像を見ることができます。

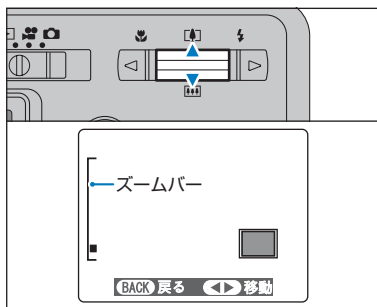
! モードスイッチを“▶”にしたときは、最後に撮影した画像が再生されます。
! 再生時にレンズが出ているときは、約6秒間操作しないとレンズ保護のため、レンズが収納されます。

画像の選択

再生中に“◀”または“▶”を約1秒間押し続けると、一覧表示画面で画像の選択ができます。

マルチ再生

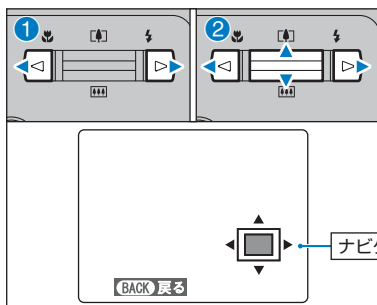
再生モードでは“DISP/BACK”ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。“DISP/BACK”ボタンを押してマルチ再生（9コマ）にします。

❶“▲▼◀▶”でカーソル（橙色の枠）を動かして、コマを選べます。数回“▲”か“▼”を押すと次のページに切り換わります。
❷もう一度“DISP/BACK”ボタンを押すと、選んだ画像を大きく表示することができます。

! 液晶モニターの文字表示は約3秒後に消えます。

◆再生できる静止画について◆

本機で記録した静止画、または xD-ピクチャーカード 対応の弊社製デジタルカメラで記録した静止画（一部非圧縮画像を除く）が再生できます。

再生ズーム

1コマ再生中に"[♠](▲)"、"[♠♠♠](▼)"を押すと静止画をズーム（拡大）します。このとき"ズームバー"が表示されます。
1コマ再生に戻るには"DISP/BACK"ボタンを押します。

❗ 再生ズーム中はマルチ再生はできません。

❶見える範囲を移動するには"◀▶"を押します。
❷"▲▼◀▶"を押すと、見える範囲を移動できます。
このときナビゲーション画面に現在の表示位置が表示されます。
ズームに戻るには"DISP/BACK"ボタンを押します。

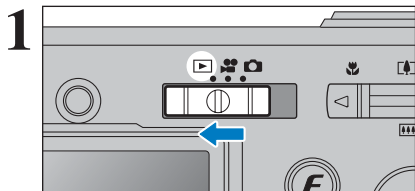
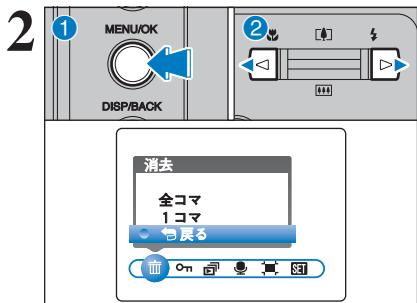
■ズーム倍率

ピクセル	最大ズーム倍率
5M (2592×1944ピクセル)	約16.2倍
3M (2048×1536ピクセル)	約12.8倍
2M (1600×1200ピクセル)	約10倍
03M (640×480ピクセル)	約4倍

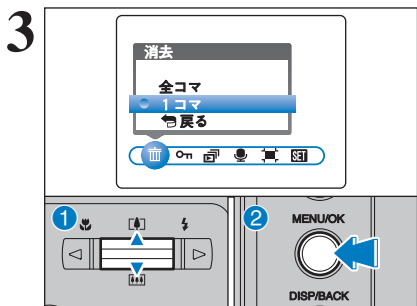
再生モード 画像を消すには（🗑1コマ消去）

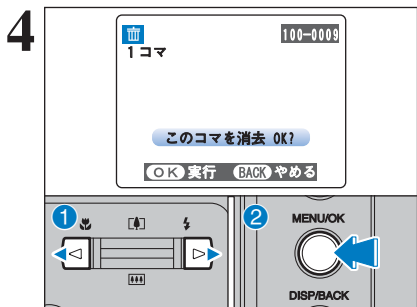
1

モードスイッチを“▶”に合わせます。

2

❶再生中に“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀▶”で“🗑”消去を選びます。

誤ってコマ（ファイル）を消去すると、元に戻せません。ご注意ください。消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

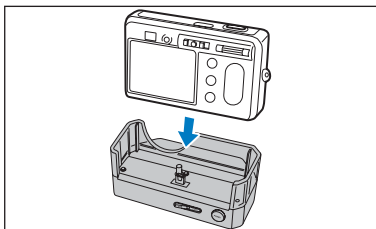
3

❶“▲▼”で“1コマ”を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押して決定します。
全コマについて詳しくは38ページをご参照ください。

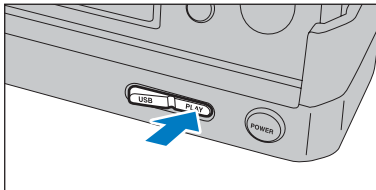
“戻る”を選択して“MENU/OK”ボタンを押すと1コマ再生に戻ります。

4

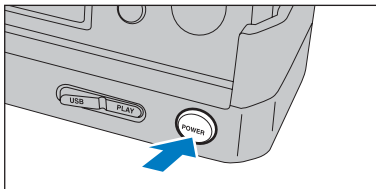
❶“◀▶”で消去するコマ（ファイル）を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のコマ（ファイル）を消去します。
続けて消去するには❶❷を繰り返します。
消去を終えるには“DISP/BACK”ボタンを押します。

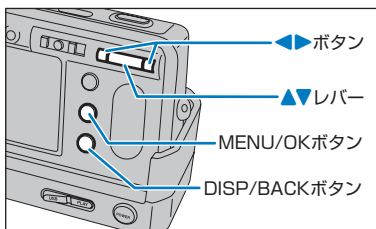
“MENU/OK”ボタンを繰り返し押すと連続して消去されます。誤って消去しないよう注意してください。

再生モード 画像を見るには（クレードルで再生）

1

カメラをクレードルにセットします。

2

クレードルの“USB/PLAY”切り換えスイッチを“PLAY”側にします。

3

クレードルの“POWER”ボタンを押すと再生モードで電源が入ります。

4

カメラの“▲▼◀▶”、“MENU/OK”ボタン、“DISP/BACK”ボタンを使用して再生できます。詳しい使用方法は23、24ページをご参照ください。

静止画機能 撮影～設定手順

撮影シーンや仕上がりのイメージを考慮しながら設定を行います。
おおまかな流れは次のようになります。

1 撮影モードを選ぶ（➡36ページ）

A	オート	ピクセル、感度、FinePixカラーを除くすべての設定をカメラに任せます。
M	マニュアル	“アカルサ”“ホワイトバランス”を自分で設定できます。
	人物	人物撮影に適したモードです。
	風景	昼間の風景撮影に適したモードです。
	スポーツ	動体撮影に適したモードです。
	夜景	夕景や夜景の撮影に適したモードです。

2 必要に応じて撮影機能を設定する（➡28～30、35、37ページ）

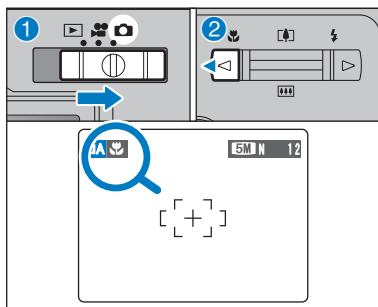
	マクロ	近距離撮影で使用します。
	ストロボ	暗い場所での撮影、逆光時の撮影などで使用します。
	セルフタイマー	撮影者を含めた集合写真などに使用します。
	アカルサ	AEの露出を基準（0）として、明るく（＋）または暗く（－）撮影します。
WB	ホワイトバランス	撮影環境や照明光に合わせて、ホワイトバランスを固定するときに使用します。

3 撮影（ピントを確認する➡構図調整➡シャッターを全押し）する

■撮影モード機能一覧

				工場出荷時	A	M	人物	風景	スポーツ	夜景
◀	マクロ		28ページ	OFF	○	○	×	×	×	×
▶	ストロボ	AUTO オート	29ページ	AUTO	○	○	○	×	○	×
		赤目軽減	29ページ		○	○	○	×	×	×
		強制発光	30ページ		○	○	○	×	○	×
		ストロボ発光禁止	30ページ		○	○	○	○	○	○
		スローシンクロ	30ページ		×	○	○	×	×	○
		赤目軽減+スローシンクロ	30ページ		×	○	○	×	×	○
FinePix Photo mode（ファインピックスフォトモード）		ピクセル	31ページ	5M N	○	○	○	○	○	○
		ISO 感度	32ページ	AUTO	○	○	○	○	○	○
		FinePixカラー	33ページ	F-スタンダード	○	○	○	○	○	○
メニュー	セルフタイマー		35ページ	OFF	○	○	○			
	アカルサ		37ページ	0	×	○	×			
	WB ホワイトバランス		37ページ	AUTO	×	○	×			

静止画機能

マクロ（近距離）

マクロを設定すると近距離撮影ができます。
❶モードスイッチを“📷”に合わせます。
❷“🌷(◀)”マクロボタンを押します。液晶モニターに“🌷”が表示され、近距離撮影ができます。マクロを解除するには、もう一度“🌷(◀)”マクロボタンを押します。

●撮影可能距離
広角側：約9cm〜約80cm
望遠側：約39cm〜約80cm
●ストロボ撮影可能距離：約30cm〜約80cm

●光学ズーム焦点距離＊
約38mm〜約130mm相当
最大ズーム倍率 3.4倍
●デジタルズーム焦点距離＊
3M：約130mm〜約164mm相当
最大ズーム倍率 約1.3倍
2M：約130mm〜約211mm相当
最大ズーム倍率 約1.6倍
03M：約130mm〜約527mm相当
最大ズーム倍率 約4.1倍

＊35mmフィルム換算

マクロ撮影は、次のとき自動的に解除されます。
- 撮影モードを切り換えたとき
- 電源が切れたとき

撮影の状況に応じてストロボの設定をしてください。
暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします（“!✋”手ブレ警告が表示されているとき）。
液晶モニターが自動的にONになり、OFFにすることはできません。
マクロを解除しても液晶モニターはONの状態のままです。

マクロでファインダーを使うと、ファインダー窓とレンズの位置が違うため、実際に見える範囲と写る範囲にズレが生じます。そのため、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

ストロボ

撮影の目的に合わせて6種類のストロボの設定ができます。

❶モードスイッチを“📷”に合わせます。

❷“ϟ(▶)”ストロボボタンを押すたびにストロボの設定が切り換わり、最後に表示したストロボの設定が選択されます。

●ストロボ撮影可能距離（📷Aオート時）
広角側：約60cm〜約3.6m
望遠側：約60cm〜約2m

- 雪のときやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボ光が雪やほこりに反射して画像に白点が写ることがあります。ストロボ発光禁止での撮影をお試しください。
- バッテリーの残量が少ない場合、ストロボ充電時間が長くなることがあります。
- ストロボ撮影をした場合、ストロボを充電するために映像が消えて黒い画面になることがあります。このときファインダーランプが橙色に点滅します。
- 撮影メニューにより使用できるストロボモードが制限されます（➡27ページ）。
- ストロボは数回発光します（予備発光、本発光）。

ストロボが発光するときは、シャッターボタンを半押しにすると、液晶モニターに“ϟ”が表示されます。

AUTO オートストロボ（表示なし）

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

- ストロボ充電中にシャッターボタンを押すと、ストロボ発光せずに撮影されます。

赤目軽減ストロボ

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。
撮影前にストロボがプレ発光し、次に撮影のためのストロボが発光します。
撮影状況に応じてストロボが自動的に発光します。

- ストロボ充電中にシャッターボタンを押すと、ストロボ発光せずに撮影されます。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減ストロボを積極的にご利用ください。赤目軽減ストロボを使用するとともに、
●撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう　●なるべく近づいて撮影する
などするとより効果的です。

次ページにつづく

強制発光ストロボ

窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。
明るいところでもストロボ撮影が行われます。

ストロボ発光禁止

室内照明を利用しての撮影、ガラス越しの撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。
この場合、設定したホワイトバランス（➡37ページ）が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ自然な色に撮影できます。

- 暗い場所でストロボ発光禁止で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
- 手ブレ警告については19、78ページをご参照ください。

スローシンクロ

スローシャッターでストロボ発光します。夜景と人物をきれいに撮影できます。手ブレ防止のため必ず三脚をご使用ください。

●最長シャッタースピード
“ ” 夜景：2秒まで

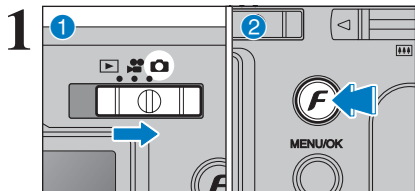
赤目軽減+スローシンクロ

赤目軽減のスローシンクロ撮影です。

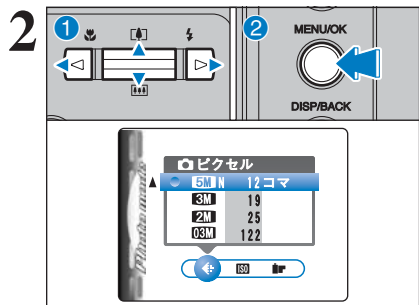
- 明るい撮影シーンでは露出オーバーになることがあります。

背景の夜景をより明るく撮りたい場合は、撮影モードの“ ”（夜景）の使用をおすすめします（➡36ページ）。

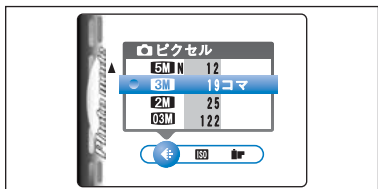
ピクセル（静止画の記録画素数）

1

❶モードスイッチを“📷”に合わせます。
❷“𝑭”ボタンを押します。

ピクセルは、電源をOFFにしてもモードスイッチを切り換えても保持されます。

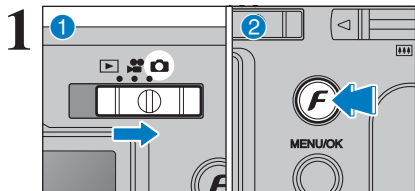
2

❶“◀▶”で“ピクセル”ピクセルを選び、“▲▼”で設定を変更します。
❷“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

! 各設定の右側の数値は撮影可能枚数です。
! ピクセル設定を変更すると撮影可能枚数（➡20ページ）が変わります。

静止画撮影モードのピクセル設定

5種類の設定から選べます。下の表を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

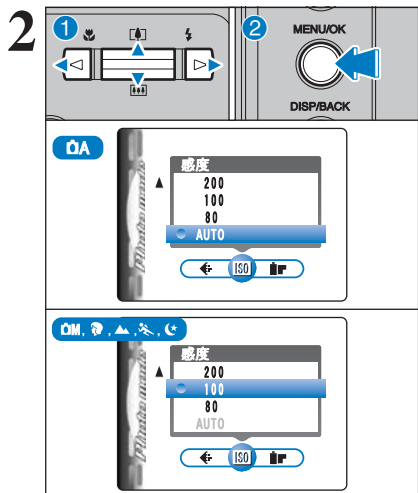
ピクセル	用途例
5M F（2592×1944） 5M N（2592×1944）	六切、A5サイズ程度でプリントする場合。画質を優先する場合は“5M F”を選んでください。
3M 3M（2048×1536）	DSCW、2Lサイズ程度でプリントする場合。
2M 2M（1600×1200）	DSC、L、ハガキ、A6サイズ程度でプリントする場合。
03M 0.3M（640×480）	電子メールへの画像添付やホームページで利用する場合。

ISO 感度

1

❶モードスイッチを "📷" に合わせます。
❷"F" ボタンを押します。

"🎥" 動画モードは "ISO" 感度の設定ができません。

感度は、電源をOFFにしてもモードスイッチを切り換えても保持されます。

2

❶"◀▶" で "ISO" 感度を選び、"▲▼" で設定を変更します。
❷"MENU/OK" ボタンを押して決定します。

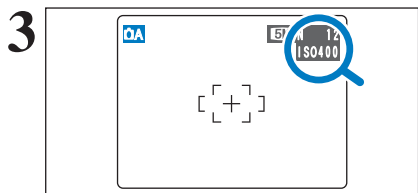
●設定値

📷A：AUTO(80～400)※、80、100、200、400
※撮影条件により範囲が異なります。

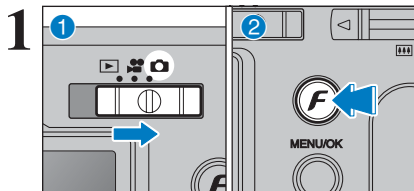
📷M、人物、風景、スポーツ、夜景：80、100、200、400

感度の設定値が大きくなるほど、より暗いところでの撮影ができるようになりますが、画像に粒子状のノイズが増えます。また、夜空などのシーンではスジ状のノイズが見える場合もあります。状況に応じて、感度設定を使い分けてください。

感度設定AUTOを選ぶと、被写体の明るさに適した感度が自動設定されます。
感度設定AUTOは撮影モード "📷A" で選べます。

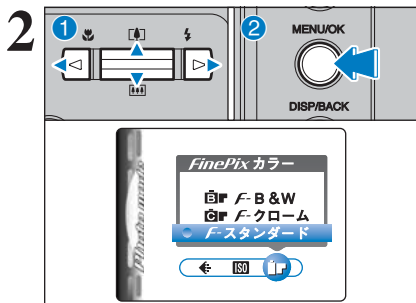
3

感度設定が80、100、200、400のときは設定した感度が液晶モニターに表示されます。

FinePixカラー

1

❶モードスイッチを“📷”に合わせます。
❷“F”ボタンを押します。

“🎥”動画モードは“FinePixカラー”の設定ができません。

FinePixカラーは、電源をOFFにしてもモードスイッチを切り換えても保持されます。

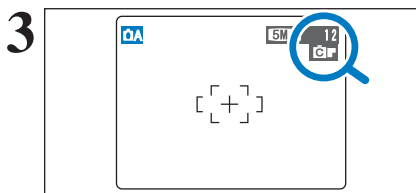
2

❶“◀▶”で“FinePixカラー”を選び、“▲▼”で設定を変更します。
❷“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

F-クロームは人物のアップ（ポートレート）など被写体によっては効果が分かりにくい場合があります。

F-クロームは画像に対する効果がシーンによって異なるため、F-スタンダードとの併用をおすすめします。また、液晶モニターでは差が分からない場合があります。

F-クローム、F-B&Wで撮影するとExif Print対応プリンターでは、自動画質補正が抑制されます。

F-スタンダード	コントラスト、色味を標準に設定します。通常はこの設定でお使いください。
F-クローム	コントラスト、色が強めに撮影されます。風景（青空や深緑）や花などがより鮮やかに撮影され効果を発揮します。
F-B&W	撮影した画像を黒白にするときに設定します。

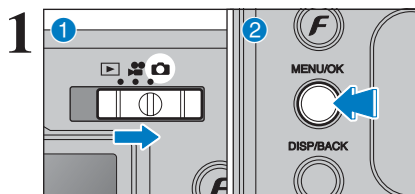
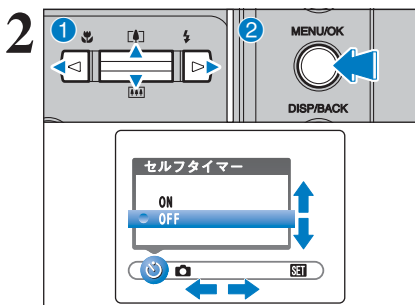
3

F-クローム、F-B&Wに設定すると液晶モニターにアイコンが表示されます。

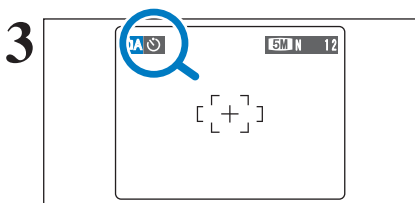
F-クローム：C
F-B&W　：B

静止画メニュー 静止画メニューの操作（必ずお読みください）

1

❶モードスイッチを“📷”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

2

❶“◀▶”でメニューを選びます。“▲▼”で設定を変更します。
❷“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

3

設定を有効にすると液晶モニターにアイコンが表示されます。

❗撮影モードにより設定可能な撮影メニューは変わります。

セルフタイマー ➡35ページ

撮影者を含めた集合写真などを撮影するときに使用します。

アカルサ ➡37ページ

適正な露出を得られないときに設定します。

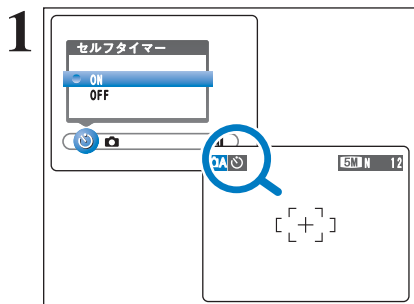
撮影モード ➡36ページ

📷Aオート、📷Mマニュアル、人物、風景、スポーツ、夜景の切り換えができます。

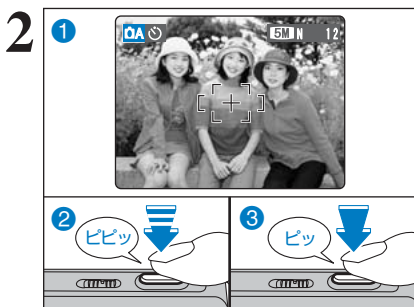
WB ホワイトバランス ➡37ページ

撮影時の環境、照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたいときに変更します。

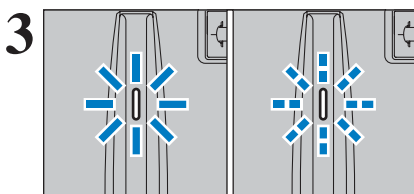
セルフタイマー

1

撮影者を含めた集合写真などに使用します。
セルフタイマーをONにすると、液晶モニターに“⏲”が表示されます。
約10秒間のセルフタイマー撮影です。

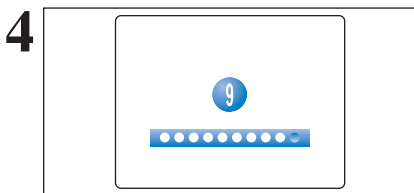
セルフタイマーは、次のときに自動的に解除されます。
- 撮影が完了したとき
- 撮影モードを切り換えたとき
- 再生モードに切り換えたとき
- 電源が切れたとき

2

①AFフレームを被写体に合わせます。
②シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。
③半押しのまま、さらにシャッターボタンを押し込むと（全押し）、セルフタイマーが開始されます。

AF/AEロック撮影も可能です（➡21ページ）。
レンズの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケになったり、適正な明るさ（露出）にならないことがあります。

3

セルフタイマーランプが約5秒間点灯したのち点滅に変わり、さらに約5秒後に撮影されます。

開始したセルフタイマー撮影は“DISP/BACK”ボタンを押すと解除できます。

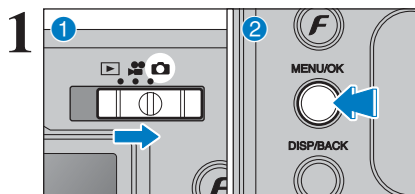
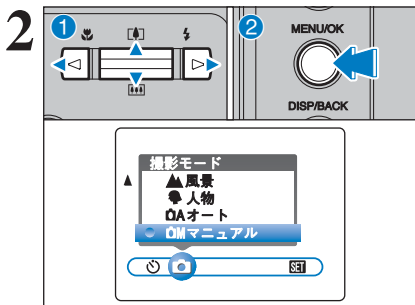
4

撮影されるまでの間、液晶モニターにカウントダウン（秒読み）表示されます。
セルフタイマーは撮影ごとに自動的に解除されます。

3 応用編

撮影モード

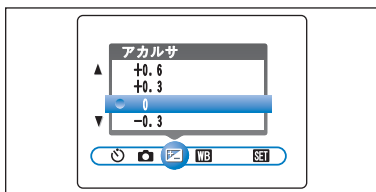
1

❶モードスイッチを"📷"に合わせます。
❷"MENU/OK"ボタンを押してメニューを表示します。

2

❶"◀▶"で"📷"撮影モードを選び、"▲▼"で設定を変更します。
❷"MENU/OK"ボタンを押して決定します。

撮影モード	説　明	使用可能ストロボ
M マニュアル	"アカルサ(➡37ページ)、ホワイトバランス(➡37ページ)"を設定できるモードです。	AUTO、👁、⚡、🚫、S⚡、SLOW
A オート	最も簡単に撮影できる撮影用途の広いモードです。	AUTO、👁、⚡、🚫
人物	人物撮影に適したモードです。 肌の色がきれいに見え、ソフトな感じに仕上がります。	AUTO、👁、⚡、🚫、S⚡、SLOW
▲ 風景	昼間の風景撮影に適したモードです。 建物や山など風景をくっきりと仕上げます。	ストロボは使用できません。
スポーツ	動体撮影に適したモードです。 高速側のシャッター優先の撮影が行われます。	AUTO、⚡、🚫
夜景	夕景や夜景の撮影に適したモードです。 最長約2秒のスローシャッター優先の撮影が行われます。 手ブレ防止のため必ず三脚をご使用ください。	S⚡、SLOW、🚫

＊人物、▲、スポーツ、夜景ではマクロの設定はできません。

アカルサ（露出補正）

“📷M”の撮影モードで設定できます。
被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに使用します。

●補正範囲：−2.1EV〜+1.5EV
（13段階：約0.3EVステップ）
EVについては84ページをご参照ください。

次のような状態では、無効になります。
- オートまたは赤目軽減でストロボが発光したとき
- 強制発光で撮影シーンが暗いとき

◆適正な明るさを得るには◆

適正な明るさを得るには、撮影された写真の明暗の度合いにより露出補正を調節してください。

●被写体が白っぽく撮影される。
設定値を−（マイナス）補正にして試してください。
写真全体が暗めに撮影されます。

●被写体が暗い感じに撮影される。
設定値を+（プラス）補正にして試してください。
写真全体が明るめに撮影されます。

■露出補正の目安
- 逆光の人物撮影：+0.6EV〜+1.5EV
- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合：+0.9EV
- 画面内を空の部分が大きく占める場合：+0.9EV
- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合：−0.6EV
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：−0.6EV

WB ホワイトバランス（光源選択）

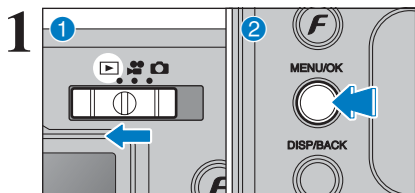
“📷M”の撮影モードで設定できます。
撮影時の環境、照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたい場合に設定を変更します。
AUTO時は、人物の顔アップなどの被写体や特殊な光源下では、正しいホワイトバランスにならない場合があります。その場合は光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。ホワイトバランスについては84ページをご参照ください。

撮影環境（光源など）によって多少色味が変わる場合があります。

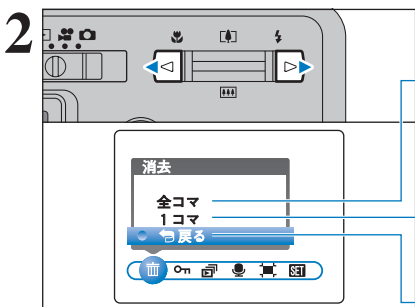
AUTO：自動調整
（光源の雰囲気を残した撮影）
☀：晴れた屋外での撮影
⛅：日陰での撮影
蛍光灯1：昼光色蛍光灯下での撮影
蛍光灯2：昼白色蛍光灯下での撮影
蛍光灯3：白色蛍光灯下での撮影
電球：電球、白熱灯下での撮影

＊ストロボ発光時のホワイトバランスはストロボ用の設定になりますので、意図した撮影の場合ストロボを発光禁止（➡30ページ）にしてください。

🗑 消去(1コマ、全コマ)

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

誤ってコマ(ファイル)を消去すると、元に戻せません。ご注意ください。消去したくない重要なコマ(ファイル)は、パソコンなどにコピーしてください。

2

“◀▶”で“🗑”消去を選びます。

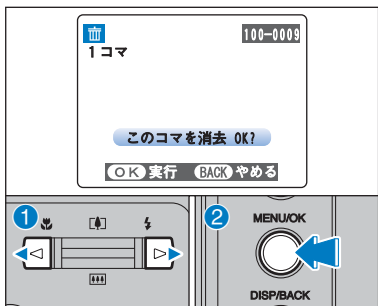
全コマ

プロテクトされていないすべてのコマ(ファイル)を消去します。消去したくない重要なコマ(ファイル)は、パソコンなどにコピーしてください。

1コマ

選んだコマ(ファイル)だけを消去します。

戻る

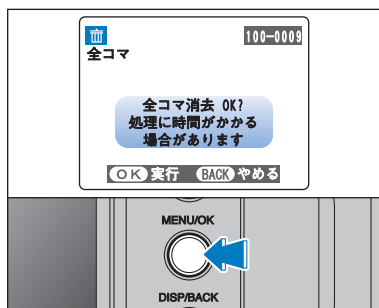
消去せずに再生に戻ります。

3

❶“▲▼”で“1コマ”か“全コマ”を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

1コマ

❶“◀▶”で消去するコマ(ファイル)を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のコマ(ファイル)を消去します。
続けて消去するには❶❷を繰り返します。
消去を終えるには“DISP/BACK”ボタンを押します。

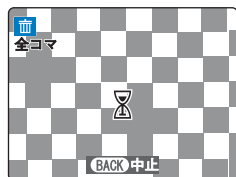
❗“MENU/OK”ボタンを繰り返し押すと連続して消去されます。誤って消去しないよう注意してください。

❗プロテクトされたコマ(ファイル)は消去できません。プロテクトを解除してから消去してください(➡40ページ)。

全コマ

“MENU/OK” ボタンを押すとすべてのコマ（ファイル）を消去します。

プロテクトされたコマ（ファイル）は消去できません。プロテクトを解除してから消去してください（➡40ページ）。

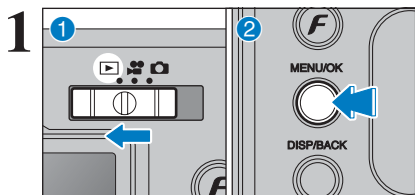
“予約があります” が表示された場合、コマ（ファイル）を消去するには “MENU/OK” ボタンをもう一度押します。

◆操作を途中でやめたいときは◆

全コマ消去を中止したいときは、“DISP/BACK” ボタンを押してください。プロテクトされていないコマ（ファイル）の中で、いくつかのコマ（ファイル）が消去されずに残ります。

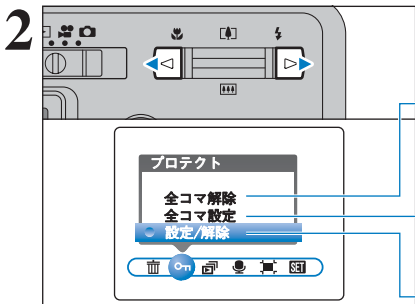
すぐに中止した場合でも、いくつかのコマ（ファイル）は消去されます。

3 応用編

再生メニュー Oπ プロテクト(設定/解除、全コマ設定、全コマ解除)

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

プロテクトとは、コマ(ファイル)を誤って消去しないように設定することです。ただし“フォーマット”するとすべてのコマ(ファイル)が消去されます(➡59ページ)。

2

“◀▶”で“Oπ”プロテクトを選びます。

全コマ解除

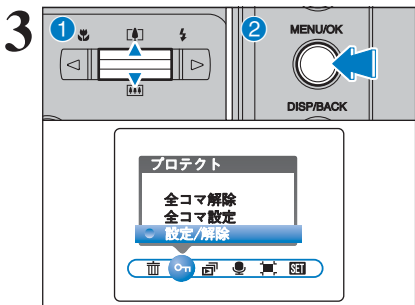
すべてのコマ(ファイル)のプロテクトを解除します。

全コマ設定

すべてのコマ(ファイル)をプロテクトします。

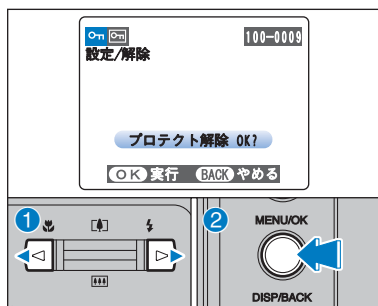
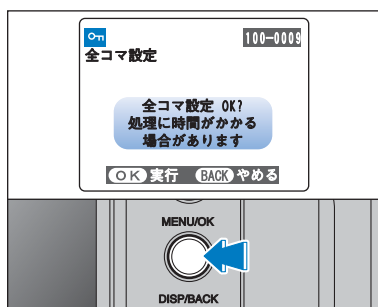
設定/解除

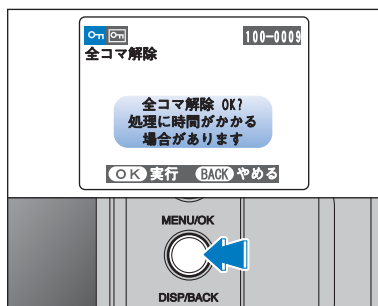
選んだコマ(ファイル)だけをプロテクトしたり、解除したりします。

3

❶“▲▼”で“設定/解除”、“全コマ設定”か“全コマ解除”を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

設定

❶“◀▶”でプロテクトするコマ(ファイル)を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のコマ(ファイル)をプロテクトします。
続けてプロテクトするには❶❷を繰り返します。
プロテクトを終えるには“DISP/BACK”ボタンを押します。

解除

❶"◀▶"でプロテクトしたコマ(ファイル)を選びます。
❷"MENU/OK"ボタンを押すと表示中のコマ(ファイル)のプロテクトを解除します。

全コマ設定

"MENU/OK"ボタンを押すとすべてのコマ(ファイル)をプロテクトします。

全コマ解除

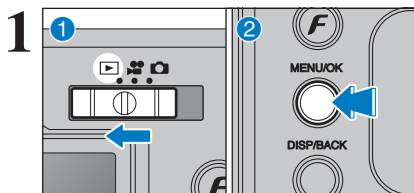
"MENU/OK"ボタンを押すとすべてのコマ(ファイル)のプロテクトを解除します。

◆操作を途中でやめたいときは◆

撮影した画像が大量にあると、全コマ設定、全コマ解除に時間がかかる場合があります。
操作の途中で静止画や動画の撮影をしたい場合は"DISP/BACK"ボタンを押してください。その後、全コマ設定、全コマ解除をし直す場合は、40ページの手順1から操作し直してください。

3 応用編

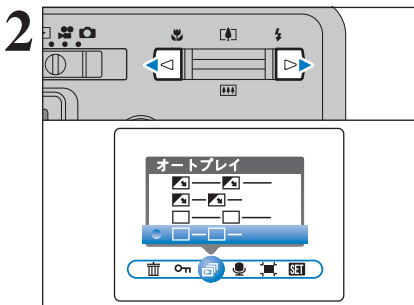
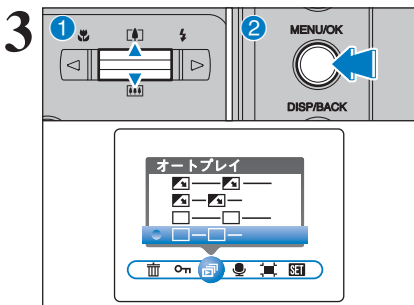
再生メニュー オートプレイ（自動再生）

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

オートプレイ中はパワーセーブしません。
動画は自動的に再生が始まります。再生が終わると次のコマに進みます。

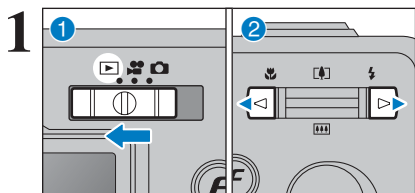
2

“◀▶”で“ ”オートプレイを選びます。

3

❶“▲▼”を押して自動再生の間隔と画像の切り換えかたを選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。画像が自動的にコマ送りされて再生されます。
途中でやめる場合は“▲”（または“MENU/OK”ボタン）を押してください。

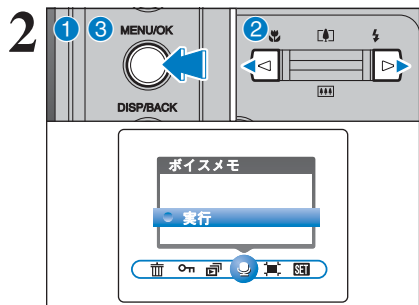
“DISP/BACK”ボタンを1回押すと、液晶モニターに再生コマNO.が表示されます。

ボイスメモ録音

1

静止画に最長30秒間のボイスメモを付けることができます。

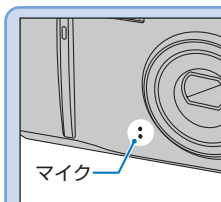
●録音形式：WAVE（➡84ページ）
PCM記録形式
音声ファイルサイズ：約480KB（30秒録音時）

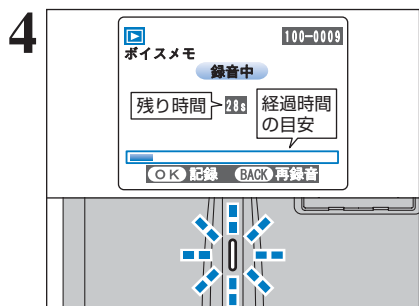
❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“◀▶”でボイスメモを付けたい画像（静止画）を選びます。

2

❶“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀▶”で“🎙”ボイスメモを選びます。
❸“MENU/OK”ボタンを押します。

❗動画にはボイスメモを付けられません。
❗“プロテクトされています”が表示された場合はプロテクトを解除してください。

3

液晶モニターに“録音スタンバイ”と表示されます。
“MENU/OK”ボタンを押すと録音が開始されます。

マイクに向かって録音してください。
約20cm離れるとうまく録音できます。

4

録音中は液晶モニターに残り時間が表示され、セルフタイマーランプが点滅します。
残り時間が5秒になると、セルフタイマーランプが早く点滅します。

❗途中で完了する場合は“MENU/OK”ボタンを押してください。

次ページにつづく

5

30秒間録音すると液晶モニターに“録音終了”と表示されます。

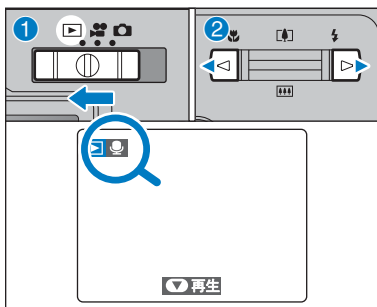
記録する場合：“MENU/OK” ボタンを押します。
再録音する場合：“DISP/BACK” ボタンを押します。

◆すでにボイスメモがあるときは◆

ボイスメモ付きの画像を選んだときは、再録音するかどうか選択画面が表示されます。

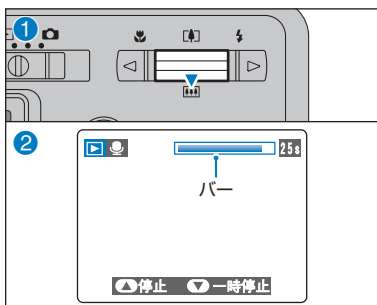
“プロテクトされています”が表示された場合はプロテクトを解除してください。

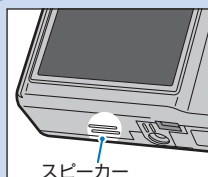
再生メニュー ボイスメモ再生

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“◀▶”でボイスメモ付き画像ファイルを選びます。

! マルチ再生ではボイスメモ再生できません。“DISP/BACK”ボタンを押して、1コマ再生にしてください。

“🎙”のアイコンで表示されます。

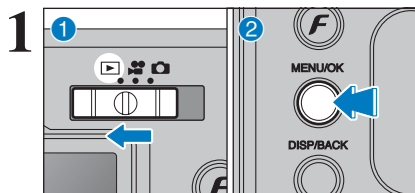
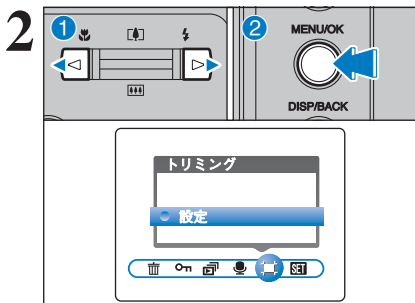
2

❶“▼”を押すと再生されます。
❷液晶モニターに再生時間とバーが表示されます。

! 音が聞き取りにくい場合は、音量調節をしてください（➡56ページ）。

スピーカーをふさがないでください。

■ボイスメモ再生操作方法

	操　作	説　明
再生	▼	再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除	▼	再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止	▲	再生を停止します。 ※停止中に“◀▶”を押すと次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し	◀▶	再生中に操作すると早送り/巻き戻しします。 ※一時停止中は操作できません。

◆再生できるボイスメモファイルについて◆

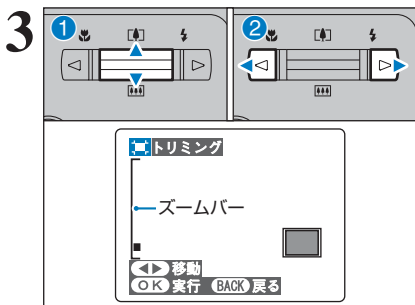
本機で記録したボイスメモファイル、弊社製デジタルカメラで xD-ピクチャーカード に記録した30秒以内のボイスメモファイルが本機で再生できます。

トリミング

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

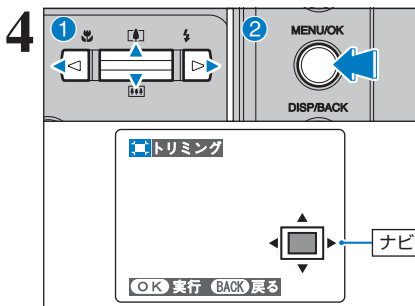
2

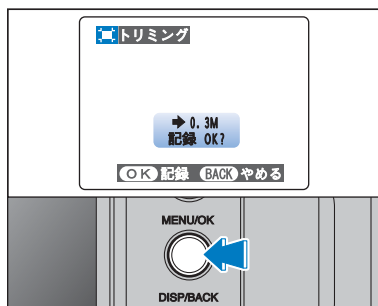
❶“◀▶”で“”トリミングを選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

3

❶“▲()”、“▼()”を押すと静止画をズーム(拡大)します。このとき“ズームバー”が表示されます。
❷移動するときは“◀▶”を押します。

“DISP/BACK”ボタンを押すと、1コマ再生に戻ります。

ズーム倍率によって保存される画像サイズが変わります。保存される画像サイズは03Mまでです。

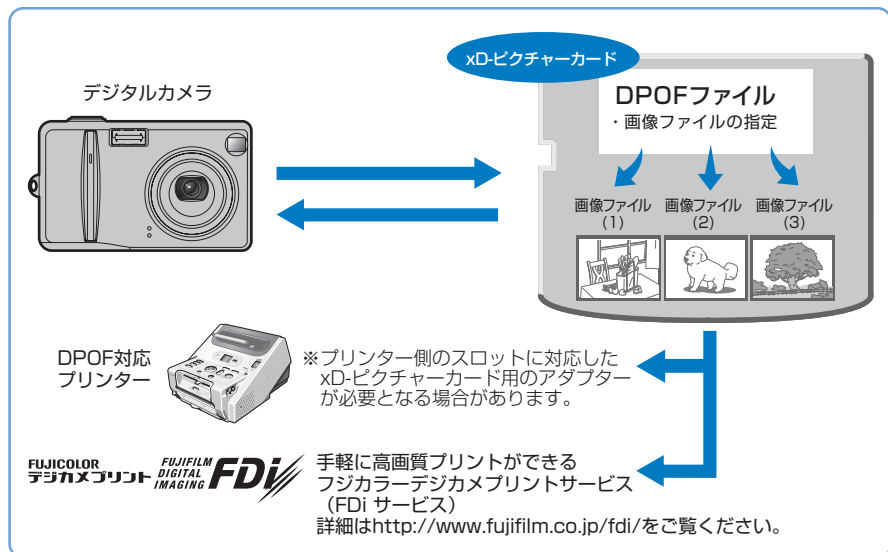
4

❶“▲▼◀▶”を押すと、見える範囲を移動できます。
このときナビゲーション画面に現在の表示位置が表示されます。
❷画像を保存するときは“MENU/OK”ボタンを押します。

5

保存される画像サイズを確認し、“MENU/OK”ボタンを押します。トリミングした画像は最後のコマに別ファイルで追加されます。

■画像サイズについて

3M	DSCW、2Lサイズ程度でプリントする場合。
2M	DSC、L、ハガキ、A6サイズ程度でプリントする場合。
03M	電子メールへの画像添付やホームページで利用する場合。

プリント予約（DPOF）について

DPOF（ディーポフ）とはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数、日付の有無などの指定情報を **xD-ピクチャーカード** などに記録するときの形式です。

- DPOF対応デジタルカメラ（本機）では上記の情報をカメラの操作で **xD-ピクチャーカード** に記録することができます。
- DPOF情報を記録した **xD-ピクチャーカード** を、フジカラーデジカメプリントサービス（FDiサービス）取扱店にお持ちいただき、お店で「DPOF指定でプリント」とお伝えいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。一回のDPOF指定でプリントできるサイズは1種類です。一部の店舗では、DPOF指定をお受けしていませんので、ご注文時にご確認ください。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ（画像ファイル）を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

◆デジカメプリントのご注文について◆

DPOF指定しなくてもフジカラーデジカメプリントサービス取扱店でプリントしたいコマやその枚数、日付の有無などの指定が可能です（お店のプリント受付機をご利用いただくと画像を見ながら簡単にできます）。詳しくはお店にご確認ください。

DPOF指定する場合も、お店で日付ありを指定する場合も撮影時にカメラの日時が正しく設定されていることが必須です。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください。

プリント予約(1コマ設定、解除、日付の有無)

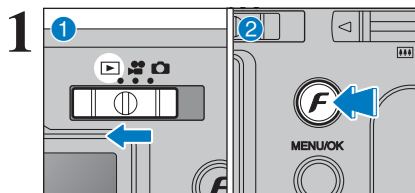
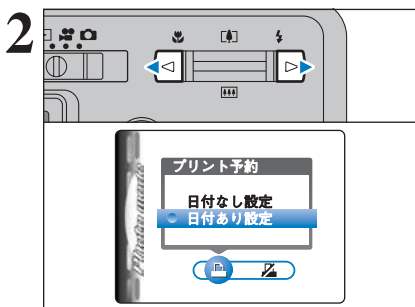
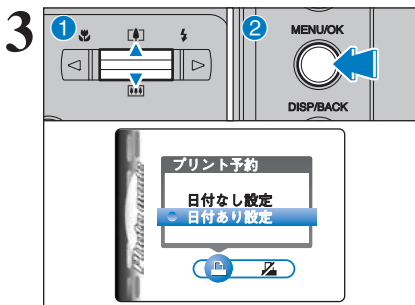
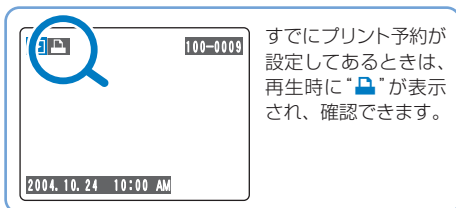
1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“F”ボタンを押します。

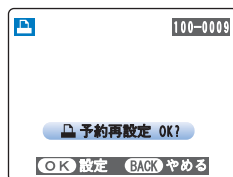
2

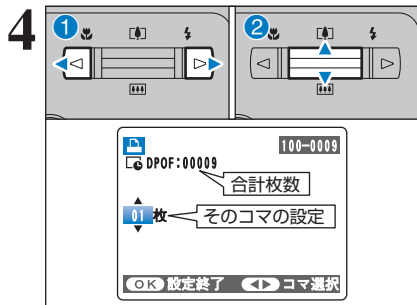
“◀▶”で“🖶”プリント予約を選びます。

すでにプリント予約が設定してあるときは、再生時に“🖶”が表示され、確認できます。

3

❶“▲▼”で“日付あり設定”か“日付なし設定”を選びます。“日付あり設定”にすると、プリントに日付が印字されます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

“日付あり設定”にするとプリントサービスかDPOF対応プリンターなどで日付を入れてプリントできます(プリンターの仕様によっては日付が入らないことがあります)。

◆他の機種でプリント予約が設定してあるとき◆

他の機種でプリント予約されたコマ(ファイル)がある場合は“🖶予約再設定OK?”と表示されます。
“MENU/OK”ボタンを押すと、すでにプリント予約された設定はすべて消去されます。新たにプリント予約をやり直す必要があります。

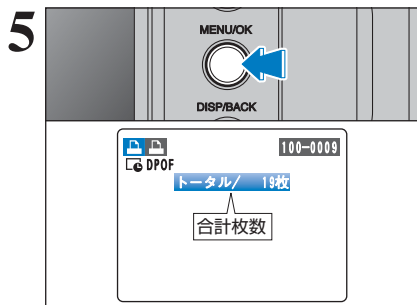
“DISP/BACK”ボタンを押すと設定を変更しません。

次ページにつづく

4

❶“◀▶”で設定するコマ（ファイル）を選びます。
❷“▲▼”でプリントするコマ（ファイル）にプリント枚数を99枚まで設定できます。プリントしないコマ（ファイル）はプリント枚数を0枚に設定します。
続けて設定するには❶❷を繰り返します。

● 同一 xD-ピクチャーカード 内で999コマの画像にプリント予約できます。
● 動画はプリント予約できません。

設定中に“DISP/BACK”ボタンを押すと、新規設定がすべてキャンセルされます。すでにプリント予約されていたときは、修正のみキャンセルします。

5

設定が終了したら、必ず“MENU/OK”ボタンを押します。
“DISP/BACK”ボタンを押すとプリント予約されません。

◆1コマ解除について◆

プリント予約したコマ（ファイル）の設定を解除（1コマ解除）するには、手順**1**～**3**までの操作を行います。
❶“◀▶”でプリント予約を解除したいコマ（ファイル）を選びます。
❷プリント枚数を0枚に設定します。
続けて解除するには❶❷を繰り返します。
設定が終了したら、必ず“MENU/OK”ボタンを押してください。

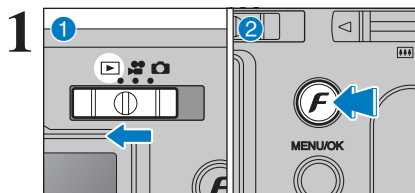
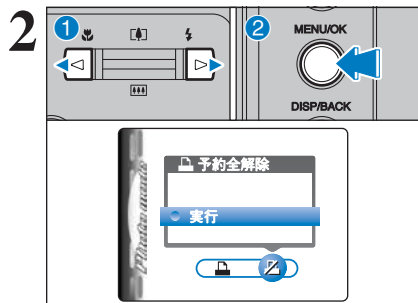
予約全解除

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“F”ボタンを押します。

2

❶“◀▶”で“”予約全解除を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

3

実行を確認する画面が表示されます。
プリント予約をすべて解除するには“MENU/OK”ボタンを押します。

動画モード 動画を撮影してみましょう（動画撮影）

1回で撮影できる動画は最長60秒（320設定時）/180秒（160設定時）です。

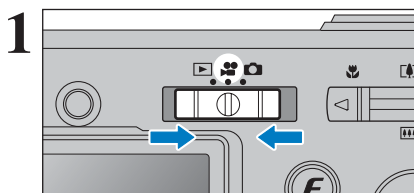
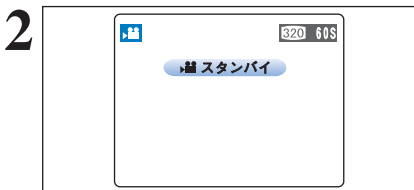
●撮影形式：Motion JPEG形式 音声付き
●ピクセルサイズ切り換え式
320（320×240ピクセル）
160（160×120ピクセル）
●フレームレート　10フレーム/秒
フレームレートについては84ページをご参照ください。

ピクセル設定の変更（➡54ページ）。
xD-ピクチャーカード の空き容量によっては、一回の撮影時間が短くなることがあります。
液晶モニターをOFFにすることはできません。

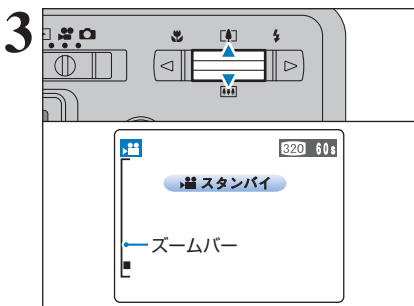
本機以外のカメラでは動画ファイルは再生できない場合があります。

1

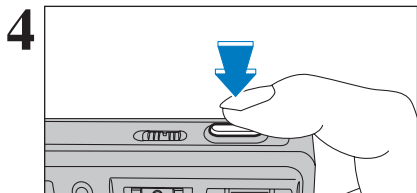
モードスイッチを“”に合わせます。

2

液晶モニターに撮影可能時間と“スタンバイ”が表示されます。

音声が同時に記録されるので、指などでマイク（➡6ページ）をふさがないようご注意ください。

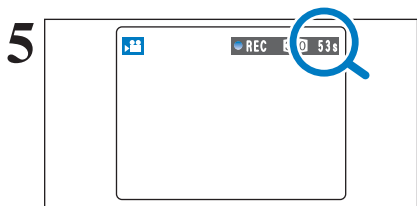
3

撮影を開始する前に“（▲）”、“（▼）”でズームします。撮影中はズームできませんので、必ず撮影前に行ってください。

●光学ズーム焦点距離（35mmフィルム換算）
約38mm～約130mm相当
最大ズーム倍率 3.4倍
●撮影可能距離
約60cm～無限遠（∞）

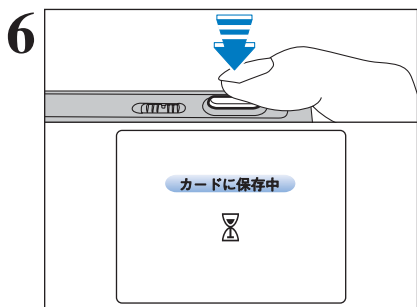
4

シャッターボタンを全押しすると、撮影が開始されます。

- 撮影前の液晶モニターと動画記録中の液晶モニターは明るさや色などが異なる場合があります。
- シャッターボタンを押し続ける必要はありません。

シャッターボタンを全押しすると、ピントは固定されますが、露出はシーンに応じて自動的に変化します。

5

撮影中は液晶モニターに“●REC”が表示され、右上に残り時間をカウントダウン表示します。

- 動画撮影中に被写体の明るさが変化すると、レンズ動作音が記録されることがあります。
- 屋外での撮影で風切り音が入る場合があります。
- 残り時間がなくなると自動的に撮影が終了し、xD-ピクチャーカード に記録されます。

6

撮影中にもう一度シャッターボタンを半押しすると撮影を終了し、 xD-ピクチャーカード へ記録します。

- 撮影開始後すぐに終了しても約1秒間だけ xD-ピクチャーカード へ記録されます。

3 応用編

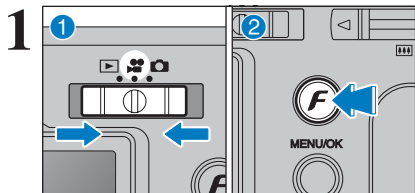
撮影可能時間について

■ xD-ピクチャーカード 標準撮影時間

＊新しい xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットした状態の標準撮影時間です。
xD-ピクチャーカード の空き容量によって撮影時間が変わります。

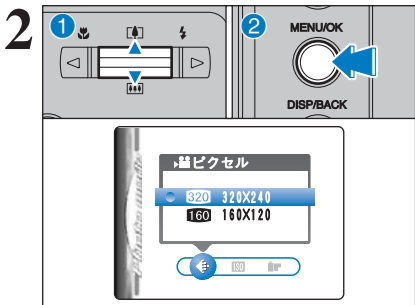
	ピクセル	
	320（10フレーム/秒）	160（10フレーム/秒）
DPC-16（16MB）	1分34秒	4分48秒
DPC-32（32MB）	3分09秒	9分42秒
DPC-64（64MB）	6分21秒	19分29秒
DPC-128（128MB）	12分44秒	39分03秒
DPC-256（256MB）	25分30秒	78分11秒
DPC-512（512MB）	51分00秒	156分20秒

ピクセル（動画の記録画素数）

1

❶モードスイッチを“ ”に合わせます。
❷“F”ボタンを押します。

“ ”動画モードは“ ”感度の設定ができません。
“ ”動画モードは“ ”FinePixカラーの設定ができません。

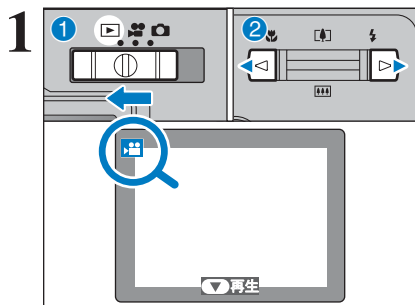
ピクセルは、電源をOFFにしてもモードスイッチを切り換えても保持されます。

2

❶“▲▼”で設定を変更します。
❷“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

動画モードのピクセル設定

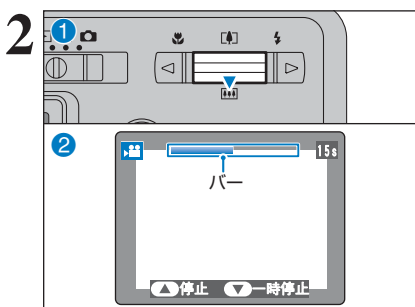
ピクセル	用途例	最長撮影時間
320（320×240）	画質優先	60秒
160（160×120）	記録時間優先	180秒

再生モード 動画を見るには（▶ 動画再生）

1

❶モードスイッチを "▶" に合わせます。
❷"◀▶" で動画ファイルを選びます。

❗マルチ再生では動画再生はできません。
"DISP/BACK" ボタンを押して、1コマ再生にしてください。

"🎥" のアイコンで表示されます。

2

❶"▼" を押すと再生されます。
❷液晶モニターに再生時間とバーが表示されます。

❗スピーカーをふさがないでください。
❗音が聞き取りにくい場合は、音量調節をしてください（➡56ページ）。
❗高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に白い縦スジが入ることがありますが故障ではありません。

静止画に比べ、ひと回り小さく表示されます。

■動画再生操作方法

	操　作	説　明
再生	▼	再生を開始します。 再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除	▼	再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止	▲	再生を停止します。 ※停止中に "◀▶" を押すと次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し	◀▶	再生中に操作すると早送り/巻き戻しします。
コマ送り	◀▶ 一時停止中	一時停止中に "◀" または "▶" を押すたびに1コマずつ送られます。 押し続けると速く送られます。

◆動画ファイルの再生について◆

- 本機以外で記録した動画ファイルは再生できない場合があります。
- パソコンで再生する場合、 xD-ピクチャーカード 内の動画ファイルをパソコンのハードディスクに保存して、そのファイルを再生してください。

☼ LCD（液晶モニター明るさ）調節、音量調節

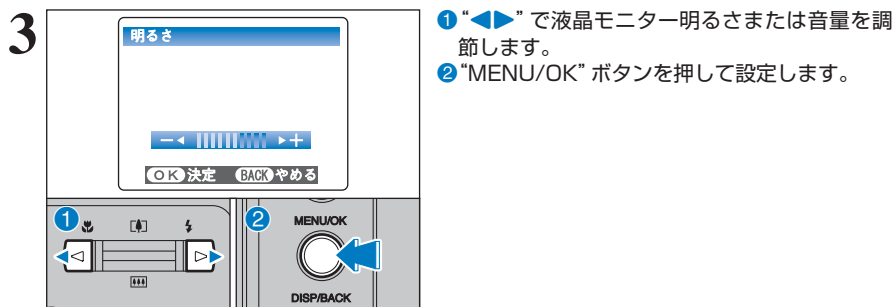
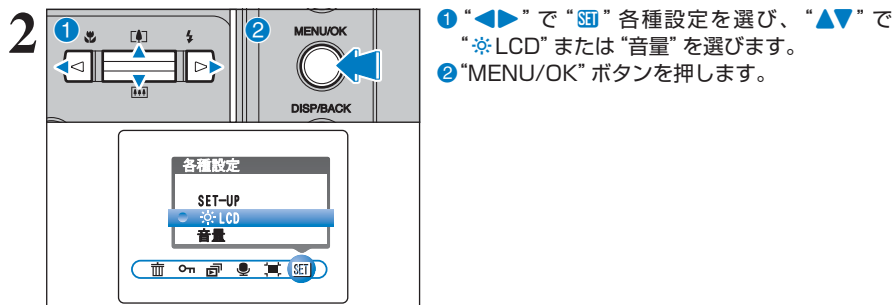
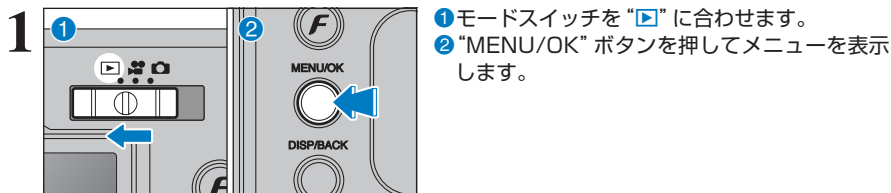
1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

2

❶“◀▶”で“SET”各種設定を選び、“▲▼”で“☼LCD”または“音量”を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

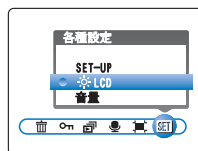
3

❶“◀▶”で液晶モニター明るさまたは音量を調節します。
❷“MENU/OK”ボタンを押して設定します。

◆各種設定のメニュー項目について◆

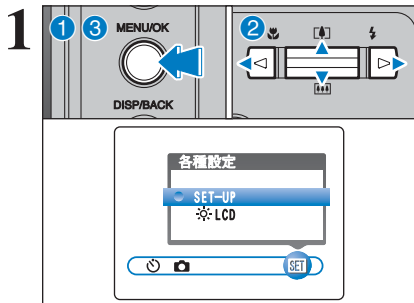
“SET”各種設定のメニュー項目は“📷、🎥、▶”のモードにより変わります。

● “📷A”静止画撮影モード

● “🎥”動画モード

● “▶”再生モード

SET-UP（セットアップ）

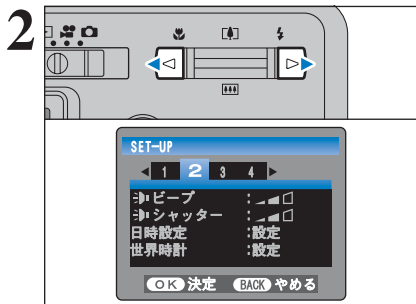
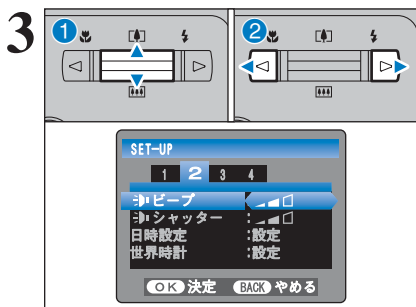
SET セットアップ画面の操作

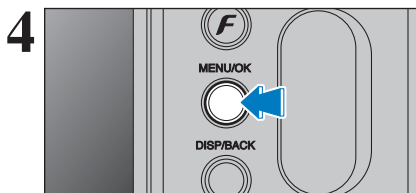
1

❶"MENU/OK" ボタンを押してメニューを表示します。
❷"◀▶" で "SET" 各種設定を選び、"▲▼" で "SET-UP" を選びます。
❸"MENU/OK" ボタンを押して、SET-UP画面を表示します。

バッテリーを交換するときは、必ず電源を切ってください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、各種設定が工場出荷時設定に戻ることがあります。

2

"◀▶" で見出し番号1〜4を切り換えます。

3

❶"▲▼" で項目を選びます。
❷"◀▶" で設定を変更します。
"フォーマット" "日時設定" "世界時計" "📷リセット" は "▶" を押します。

4

変更後 "MENU/OK" ボタンを押して決定します。

4 各種設定編

※セットアップ画面の操作方法（➡57ページ）

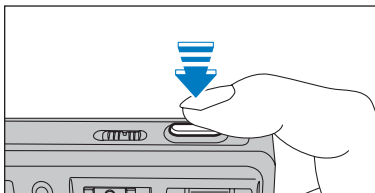
■SET-UPメニュー一覧

	項　目	表　示	工場出荷時	内　　容	ページ
1	撮影画像表示	ON/OFF	ON	撮影後に画像確認画面（撮影結果）を表示するかどうか設定できます。撮影結果がしばらく表示され、自動的に記録されます。	—
	パワーセーブ	2分/5分/OFF	2分	何も操作していないときに消費電力を抑え、その後、自動的に電源を切るかどうか設定できます。	59
	フォーマット	実行	—	すべてのファイルを消去します。	59
	LCD	ON/OFF	ON	撮影モードで電源を入れたときに、自動的に液晶モニターをON にするかOFF にするか設定できます。	—
2	ビープ	OFF/1/2/3	2	操作したときの音量を設定できます。	—
	シャッター	OFF/1/2/3	2	シャッターを切るときの音量を設定できます。	—
	日時設定	設定	—	日付、時刻を修正できます。	13
	世界時計	設定	—	時差の設定ができます。	60
3	コマNO.	連番/新規	連番	コマNO.を連番にするか新規にするかを設定します。	61
	USB 設定	⇋/WEB/⇋	⇋	⇋：カードリーダー **xD-ピクチャーカード** から簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェース接続により、高速にファイル転送が行えます。	64
				WEB：WEB カメラ インターネット接続されたパソコン同士でテレビ電話が楽しめます（Windows XP SP1のみ）。	67
				⇋：ピクトブリッジ PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わないでカメラとプリンターを直接つないでプリントできます。	69
	起動画面	ON/OFF	OFF	電源を入れたときに、オープニング画面を表示するかしないかを設定できます。	—
	言語/LANG.	日本語/ENGLISH /FRANCAIS/DEUTSCH /ESPAÑOL/中文	日本語	液晶モニターに表示する言語を設定できます。	—
4	ビデオ出力	NTSC/PAL	NTSC	ビデオ出力をNTSCにするかPALにするかを設定します。 日本国内で使用する場合はNTSCを選択してください。	—
	リセット	実行	—	日時設定、世界時計、言語/LANG.、ビデオ出力以外のすべての設定を工場出荷時設定にリセットします。“▶”を押すと確認画面が表示されるので、リセットするには “MENU/OK” ボタンを押します。	—

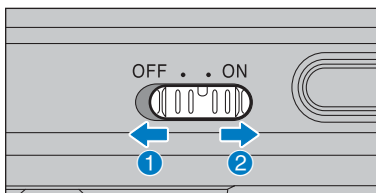
パワーセーブ（省電力設定）

本機能を有効にすると、約60秒間操作をしないと液晶モニターが消え（スリープ）、消費電力を抑えます（ファインダーランプ［緑］が1秒おきに点滅）。2分間（5分間）操作しないと自動的に電源が切れます。バッテリーの駆動時間をできるだけ長くしたいときに使用します。

オートプレイ、クレードル接続時はパワーセーブは無効になります。

セットアップと再生モードではスリープは機能しませんが、しばらく放置（2分間または5分間）すると自動的に電源が切れます。

スリープしているときに、シャッターボタンを半押しすると、撮影可能状態に復帰します。素早く撮影可能になるので便利です。

シャッターボタン以外のボタンでも復帰できます。

◆再度電源を入れるには◆

再度電源を入れるには、いったん電源スイッチを❶切ってから、❷再び電源を入れると使用できるようになります。

フォーマット（ xD-ピクチャーカード の初期化）

xD-ピクチャーカード をカメラ用に初期化（フォーマット）します。プロテクトされているファイルを含むすべてのコマ（ファイル）を消去しますので、消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

❶“◀▶”で“実行”を選びます。

❷“MENU/OK”ボタンを押すとすべてのコマ（ファイル）が消去され、 **xD-ピクチャーカード** が初期化されます。

フォーマットする前に“カードエラー”“記録できませんでした”“再生できません”“フォーマットされていません”が表示された場合は、78ページを参照し対処してください。

4 各種設定編

世界時計（時差の設定）

現在設定されている日時に対して、時差を設定します。設定を有効にすると撮影時間が時差の設定に合わせた時間になります。旅行先で時差がある場合に便利です。

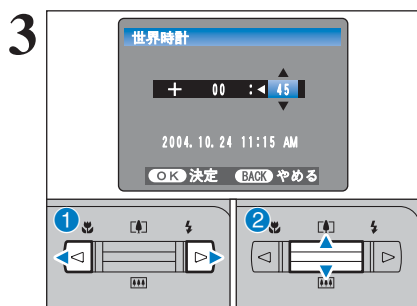
1

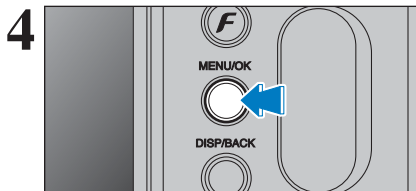
“◀▶” で “⌂ホーム” と “✈現地” を切り換えます。
時差を設定するときは “✈現地” にします。

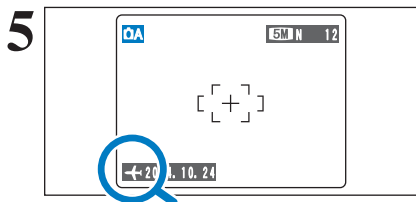
⌂ホーム ：お住まいの地域
✈現地　 ：旅行先

2

❶“▲▼” で “時差設定” を選択します。
❷“▶” を押します。

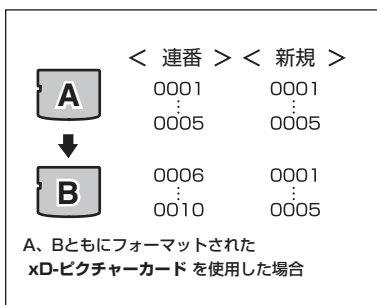
3

❶“◀▶” で “＋、－、時、分” を選択します。
❷“▲▼” で設定します。

●設定可能時間
　－23：45～＋23：45（15分単位）

4

設定が終了したら、必ず“MENU/OK”ボタンを押します。

5

世界時計を設定すると撮影モードにしたときに、3秒間、液晶モニターに“✈”が表示され日付が黄色になります。

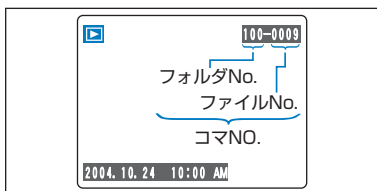
旅行先から戻ったら、世界時計の設定を必ず“⌂ホーム”に設定し直してください。

コマNO.（コマNO.メモリー）

コマNO.を連番にするか新規にするかを設定します。

連番：最後に使用した xD-ピクチャーカード の「最終ファイルNo.」から続けて撮影

新規： xD-ピクチャーカード ごとに「ファイルNo. 0001」から撮影

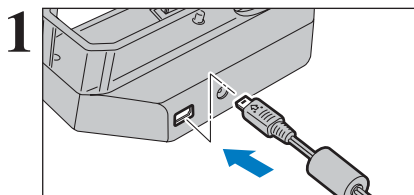
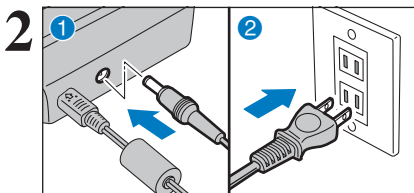
“連番”は、パソコンなどに画像を取り込んだときにファイル名が重複しないので、ファイルの管理に便利です。

- “📷リセット”を実行した場合、コマNO.の設定（“連番”または“新規”）は“連番”になりますが、コマNO.自体は“0001”に戻りません。
- 記憶した「最終ファイルNo.」より、大きいファイルNo.の画像が xD-ピクチャーカード にあった場合、大きいファイルNo.の続きから撮影されます。

画像を再生するとファイルNo.を確認できます。液晶モニターの右上の7けたの数字のうち下4けたがファイルNo.で、上3けたはフォルダNo.です。

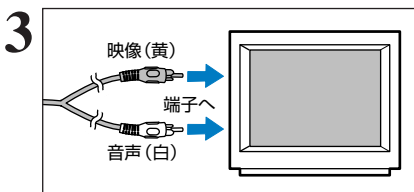
- xD-ピクチャーカード を交換するときは、必ず電源を切ってからバッテリーカバーを開けてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマNO.の連番が機能しないことがあります。
- ファイルNo.は0001から9999までで、それを超えるとフォルダNo.が1つ繰り上がります。
  最大で999-9999までカウントされます。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマNO.表示が異なる場合があります。
- “コマNO.の上限です”が表示されたときは78ページをご参照ください。

4 各種設定編

テレビに接続する（クレードル使用）

1

クレードルの“A/V OUT（音声/映像出力）”端子に専用A/V（音声/映像）ケーブルを接続します。

2

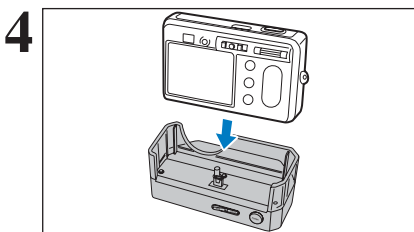
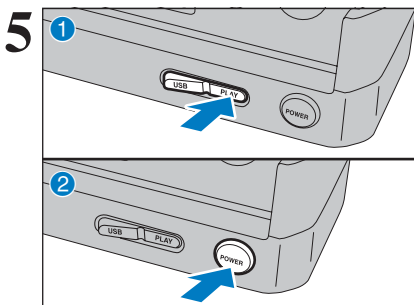
❶ACパワーアダプターの接続プラグをクレードルの“DC IN 5V”端子に差し込みます。
❷ACパワーアダプターの電源プラグをコンセントに差し込みます。

3

テレビの映像入力端子にピンプラグを接続します。

- クレードル使用のテレビへの出力は再生モードのみです。
- テレビの映像/音声入力については、テレビの説明書をご参照ください。

4

カメラをクレードルにセットします。

5

❶クレードルの“USB/PLAY”切り換えスイッチを“PLAY”側にします。
❷クレードルの“POWER”ボタンを押すと再生モードでカメラの電源が入ります。

パソコンと接続する（クレードル使用）

USB接続で利用できる機能の概要と接続方法を説明します。

カメラをパソコンに初めて接続する際は、接続する前に、付属のCD-ROMを使ってパソコンにソフトウェアをすべてインストールする必要があります。インストールする前にカメラをパソコンに接続すると正常に接続できなくなる場合があります。
別冊のソフトウェア取扱ガイドをご覧になって、正しくソフトウェアをインストールしてください。

CD-ROM
「Software for FinePix AX」

ソフトウェア取扱ガイド

カードリーダー機能について

xD-ピクチャーカード から簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェース接続により、高速にファイル転送が行えます（➡64ページ）。

WEB カメラ機能について

インターネット接続されたパソコン同士でテレビ電話が楽しめます。

- WEB カメラ機能はWindows XP（SP1）で使用できます。
- WEB カメラ機能を使用するにはWindows Messenger 5.0以降が必要です。
- WEB カメラ機能を使用してビデオチャットを行うには、相手のOSもWindows XP（SP1）である必要があります。

◆パソコンと接続するときの注意◆

- 付属のクレードルと付属のACパワーアダプターAC-5VWを使って接続をしてください（➡76ページ）。通信中に電源が切れると、**xD-ピクチャーカード** 内のファイルを破壊する可能性があります。
- 通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。通信中に電源が切れると、**xD-ピクチャーカード** 内のファイルを破壊する可能性があります。
- Windows XPおよびMac OS Xでは、初回接続時に自動起動の設定が必要です。
- FinePix F455専用USBケーブルは向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください。
- Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
- カメラとパソコンが通信中のときは、セルフタイマーランプが点滅し、ファインダーランプが緑/橙に交互点滅します。
- クレードル接続時はパワーセーブしません。
- **xD-ピクチャーカード** の交換は、必ず66ページの手順でカメラとパソコンの接続を切ったあとに行ってください。
- パソコンで“コピー中”の表示が消えても、カメラと通信中の場合があります。必ずカメラのファインダーランプが緑色に点灯していることを確認してください。

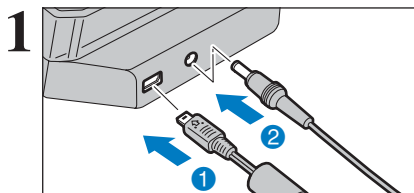
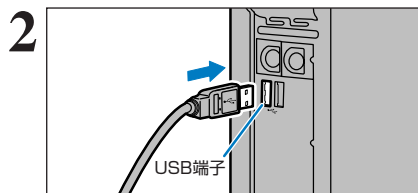
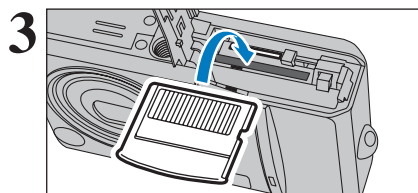
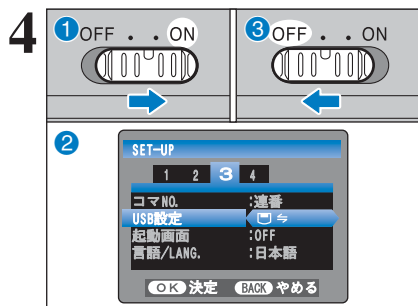
カードリーダー接続方法

1

❶クレードルのUSB端子にFinePix F455専用USBケーブルを接続します。
❷ACパワーアダプターの接続プラグをクレードルの“DC IN 5V”端子に差し込み、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。

2

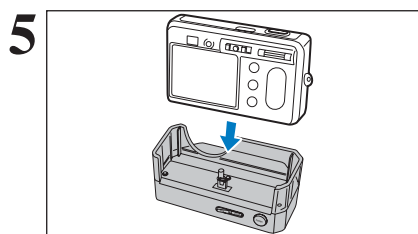
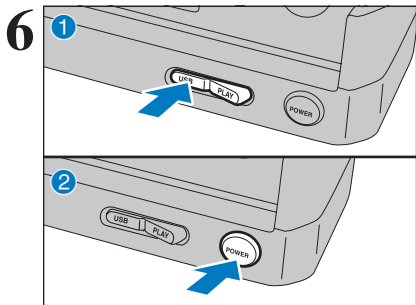
❶パソコンの電源を入れます。
❷FinePix F455専用USBケーブルでクレードルとパソコンを接続します。

3

撮影した **xD-ピクチャーカード** をカメラにセットします。

4

❶電源スイッチをスライドさせて、電源を入れます。
❷SET-UPの“USB設定”を“⇆”にします（➡57ページ）。
❸電源スイッチをスライドさせて、電源を切ります。

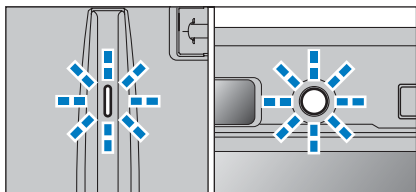
5

カメラをクレードルにセットします。

6

❶クレードルの“USB/PLAY”切り換えスイッチを“USB”側にします。
❷クレードルの“POWER”ボタンを押して電源を入れます。

カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください(➡66ページ)。

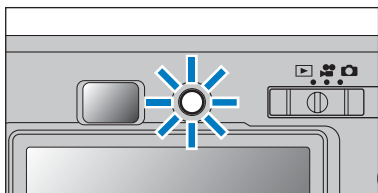
Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
＊パソコンがカメラを認識しない場合は、ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

カメラの動作

- カメラとパソコンが通信中のときは、セルフタイマーランプが点滅し、ファインダーランプが緑/橙に交互点滅します。
- 液晶モニターに“⇋カードリーダー”と表示されます。
- クレードル接続時はパワーセーブしません。

5
接続編

パソコンと接続を切るには（必ず行ってください）

1 カメラを利用しているアプリケーション（FinePixViewerなど）をすべて終了します。

2 カメラの電源を切る前の作業を行います。この手順は、ご使用のOS（パソコン）によって違います。

ファインダーランプが緑色に点灯していること（パソコンと通信していないこと）を確認します。

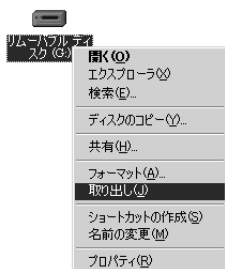
❗パソコンで“コピー中”の表示が消えても、カメラと通信中の場合があります。必ずカメラのファインダーランプが緑色に点灯していることを確認してください。

Windows 98/98 SE

パソコンでの操作は必要ありません。

Windows Me/2000 Professional/XP

❶マイコンピュータの中の“リムーバブルディスク”アイコンを右クリックし、取り出しをクリックします。この操作はWindows Meのみ必要です。

❷タスクバー上の取り外しアイコンを左クリックします。

＊Windows Meの画面です。

❸下図のメニューが表示されますので、メニュー上をクリックします。

USB ディスク - ドライブ (G:) の停止

＊Windows Meの画面です。

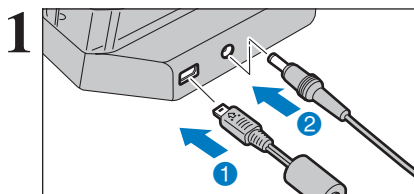
❹“ハードウェアの取り外し”ダイアログが表示されますので、［OK］ボタンか［クローズ］ボタンをクリックしてください。

Macintosh

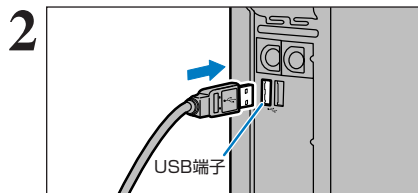
デスクトップの“リムーバブルドライブ”アイコンを、ゴミ箱にドラッグ&ドロップします。

❗ゴミ箱にドラッグ＆ドロップすると、カメラの液晶モニターに“取り外しOK”と表示されます。

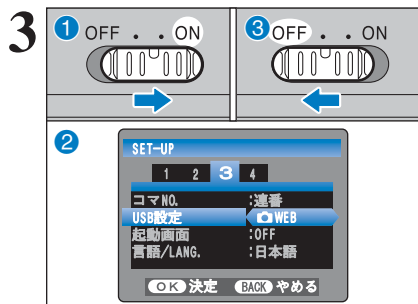
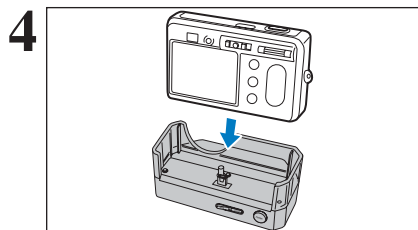
3 クレードルの“POWER ”ボタンを押して電源を切ります。

WEB カメラ接続方法

1

❶クレードルのUSB端子にFinePix F455専用USBケーブルを接続します。
❷ACパワーアダプターの接続プラグをクレードルの“DC IN 5V”端子に差し込み、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。

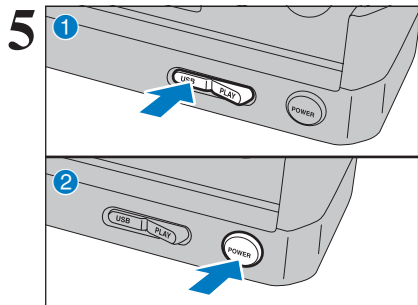
WEB カメラ機能をお使いになる場合は、三脚のご使用をおすすめします。

2

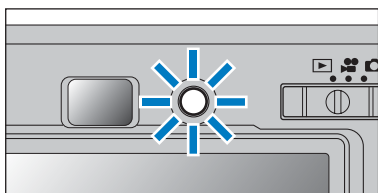
❶パソコンの電源を入れます。
❷FinePix F455専用USBケーブルでクレードルとパソコンを接続します。

3

❶電源スイッチをスライドさせて、電源を入れます。
❷SET-UPの“USB設定”を“WEB”にします(➡57ページ)。
❸電源スイッチをスライドさせて、電源を切ります。

4

カメラをクレードルにセットします。

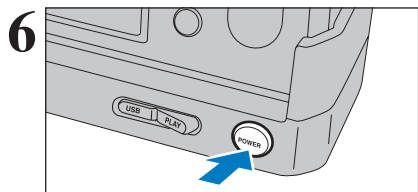
5 接続編

5

❶クレードルの “USB/PLAY” 切り換えスイッチを “USB” 側にします。
❷クレードルの “POWER” ボタンを押して電源を入れます。
液晶モニターに “WEB カメラ” と表示されます。

WEB カメラ使用時は、液晶モニターが暗くなります。
パソコンと接続ができなかった場合、“接続できませんでした” と表示されます。

カメラの動作

- レンズが広角側に固定されます。
- ファインダーランプ [緑] が点灯します。
- クレードル接続時はパワーセーブしません。

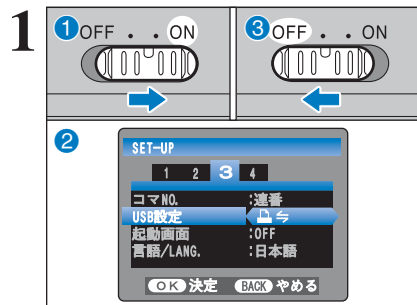
WEB カメラを終了する場合は、カメラを利用しているアプリケーションをすべて終了します。

6

クレードルの “POWER” ボタンを押して電源を切ります。

カメラとプリンターを直接つないでプリントする(PictBridge機能)

PictBridge(ピクトブリッジ)対応のプリンターがあれば、パソコンを使わないでカメラとプリンターを直接つないでプリントできます。

❗ PictBridge機能は、カメラで撮影した画像以外ではプリントできない場合があります。

カメラでプリント予約(DPOF)の設定をしてプリントする

1

❶電源スイッチをスライドさせて、電源を入れます。
❷SET-UPの"USB設定"を"🖨⇆"にします(➡57ページ)。
❸電源スイッチをスライドさせて、電源を切ります。

❗ USB設定が"🖨⇆"のまま、パソコンと接続しないでください。誤ってパソコンと接続した場合は、81ページをご参照ください。

2

❶ACパワーアダプターの接続プラグをクレードルの"DC IN 5V"端子に差し込み、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。
❷クレードルとプリンターをFinePix F455専用USBケーブルで接続します。
❸カメラをクレードルにセットします。

❗ 本機では用紙サイズ設定や印字品質などプリンターの設定はできません。
❗ 本機でフォーマットした xD-ピクチャーカード をご使用ください。

3

❶クレードルの"USB/PLAY"切り換えスイッチを"USB"側にします。
❷クレードルの"POWER"ボタンを押して電源を入れます。

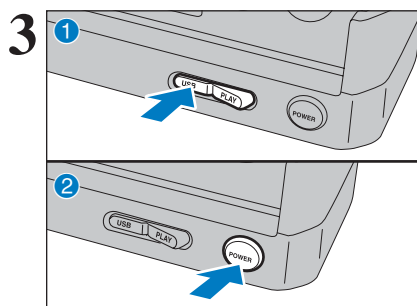
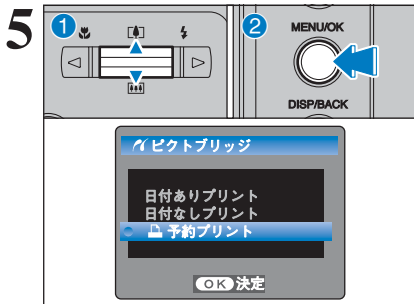
4

"接続先確認中"と表示され、しばらくするとメニュー画面が表示されます。

❗ メニュー画面が表示されない場合は、USB設定が"🖨⇆"になっているか確認してください。
❗ プリンターによっては使えない機能があります。

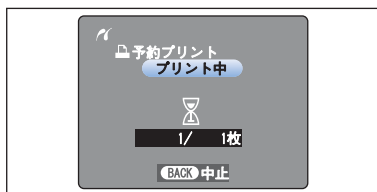
5 接続編

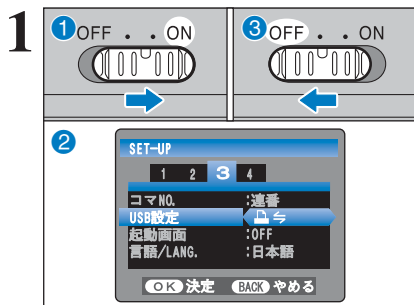
次ページにつづく

5

❶“▲▼”で“🖶予約プリント”を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

❗“[🖶予約がありません]”と表示された場合はプリント予約されていません。
❗予約プリントでプリントする場合は、あらかじめ本機でプリント予約する必要があります(➡49ページ)。
❗プリント予約で“日付あり設定”に設定しても、日付プリントに対応していないプリンターの場合、日付が印字されません。

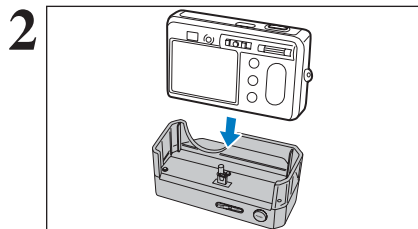
6

“MENU/OK”ボタンを押すとデータが転送され、プリント予約したコマが連続してプリントされます。“DISP/BACK”ボタンを押すと手順**5**に戻ります。

❗“DISP/BACK”ボタンを押すとプリントを中止できます。プリンターによってはすぐにプリントを中止できない場合や、プリントの途中で停止する場合があります。動作の途中で動かなくなった場合は、カメラの電源をいったん切って、もう一度入れ直してください。

プリント予約(DPOF)を使わず、コマを指定してプリントする(1コマプリント)

1

❶電源スイッチをスライドさせて、電源を入れます。
❷SET-UPの“USB設定”を“🖶⇆”にします(➡57ページ)。
❸電源スイッチをスライドさせて、電源を切ります。

❗USB設定が“🖶⇆”のまま、パソコンと接続しないでください。誤ってパソコンと接続した場合は、81ページをご参照ください。

2

❶ACパワーアダプターの接続プラグをクレードルの“DC IN 5V”端子に差し込み、次にプラグを電源コンセントに差し込みます。
❷クレードルとプリンターをFinePix F455専用USBケーブルで接続します。
❸カメラをクレードルにセットします。

❗本機では用紙サイズ設定や印字品質などプリンターの設定はできません。
❗本機でフォーマットした xD-ピクチャーカード をご使用ください。

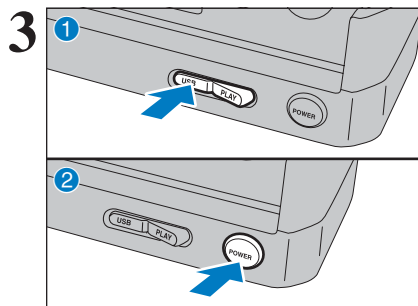
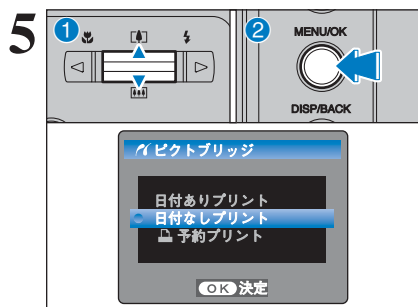
3

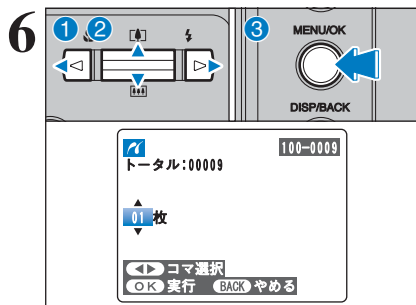
❶クレードルの“USB/PLAY”切り換えスイッチを“USB”側にします。
❷クレードルの“POWER”ボタンを押して電源を入れます。

4

“接続先確認中”と表示され、しばらくするとメニュー画面が表示されます。

❗メニュー画面が表示されない場合は、USB設定が“🖶⇋”になっているか確認してください。
❗プリンターによっては使えない機能があります。

5

❶“▲▼”で“日付なしプリント”か“日付ありプリント”を選びます。“日付ありプリント”にすると、プリントに日付が印字されます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

❗日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、“日付ありプリント”が選択できません。

次ページにつづく

6

❶“◀▶”で設定するコマ（ファイル）を選びます。
❷“▲▼”でプリントするコマ（ファイル）にプリント枚数を99枚まで設定できます。プリントしないコマ（ファイル）はプリント枚数を0枚に設定します。
続けて設定するには❶❷を繰り返します。
❸“MENU/OK”ボタンを押します。

動画はプリントできません。

7

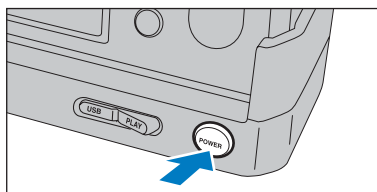
設定が終了したら、必ず“MENU/OK”ボタンを押します。

“DISP/BACK”ボタンを押すと手順**5**に戻ります。

8

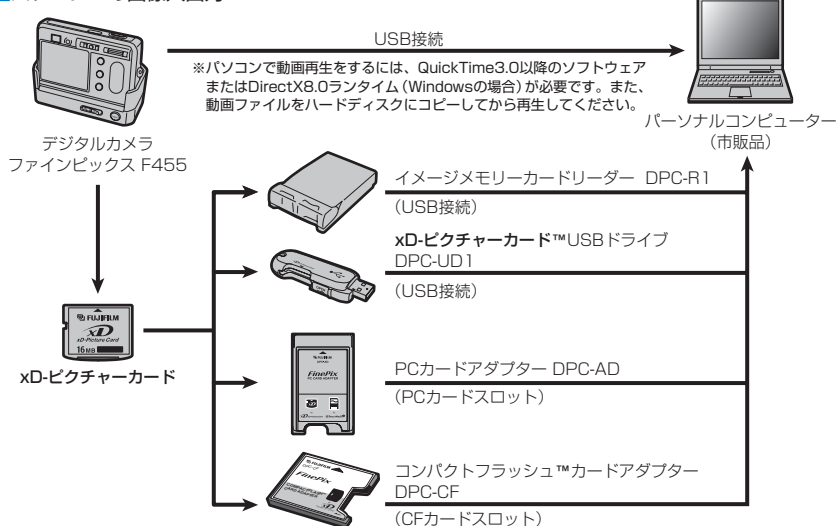
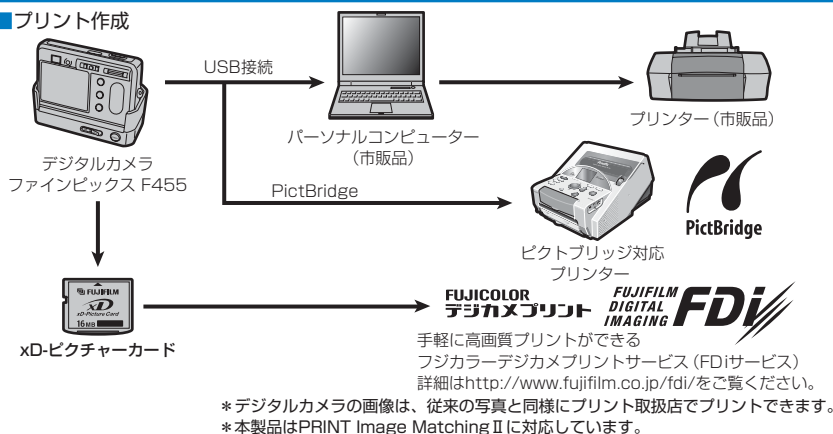
“MENU/OK”ボタンを押すとデータが転送され、指定された枚数のプリントが開始されます。
プリントが完了したら“DISP/BACK”ボタンを押してください。

“DISP/BACK”ボタンを押すとプリントを中止できます。プリンターによってはすぐにプリントを中止できない場合や、プリントの途中で停止する場合があります。動作の途中で動かなくなった場合は、カメラの電源をいったん切って、もう一度入れ直してください。

プリンターと接続を切るには

❶カメラの液晶モニターに“プリント中”と表示されていないことを確認します。
❷クレードルの“POWER”ボタンを押して、電源を切ります。

システムアップ機器（別売）（平成16年11月現在）

▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。

＊デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様にプリント取扱店でプリントできます。
＊本製品はPRINT Image Matching Ⅱに対応しています。

その他 別売アクセサリーの紹介（平成16年11月現在）

▶使いかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

※最新情報は富士フイルムホームページをご覧ください。
http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/
※価格はメーカー希望小売価格です。

●イメージメモリーカード（ xD-ピクチャーカード ）

以下の種類がお使いいただけます。

- DPC-16（16MB）
- DPC-32（32MB）
- DPC-64（64MB）
- DPC-128（128MB）
- DPC-256（256MB）
- DPC-512（512MB）

※すべてオープン価格

●バッテリーチャージャー BC-65

充電式バッテリーを短時間で充電します。充電時間は約90分です（NP-40充電時）。
充電式バッテリー NP-40を充電する場合は、NP-40充電用アダプターを使用して充電します（AC100V～240V、50/60Hz対応）。

※6,800円（税込み7,140円）

●充電式バッテリー NP-40

リチウムイオンタイプの薄型充電式電池です。
バッテリーチャージャー BC-65で充電する場合は、バッテリーチャージャーに付属しているNP-40充電用アダプターが必要です。

※4,500円（税込み4,725円）

●ACパワーアダプター AC-5VH

長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください。
（AC100V～240V、50/60Hz対応）

※4,000円（税込み4,200円）

●ソフトケース SC-FX455

牛革製の専用ケースです。カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します。

※3,500円（税込み3,675円）

●イメージメモリーカードリーダー DPC-R1

イメージメモリーカード（ xD-ピクチャーカード 、スマートメディア）からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェースにより高速なファイル転送を行います。

- Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- iMac、iBookおよびUSBインターフェースを標準装備するPower Macintosh（Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5））

※オープン価格

●PCカードアダプター DPC-AD

xD-ピクチャーカード あるいはスマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA2.1）に準拠したPCカード（TYPE Ⅱ）として使えます。2種類のメディアのうちどちらか一方を使用できます。

- Windows 95/98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5）

※オープン価格

●コンパクトフラッシュ™カードアダプター DPC-CF

xD-ピクチャーカード を挿入するとコンパクトフラッシュ™カード（TYPE Ⅰ）として使用できます。

- Windows 95/98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5）

※オープン価格

●xD-ピクチャーカード™USBドライブ DPC-UD1

xD-ピクチャーカード 専用の小型カードリーダーです。USBポートに差し込むだけでデータの読み込み、書き込みが可能です（Windows 98/98 SEを除いてドライバーのインストールが不要です）。

- Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- Mac OS 9.0～9.2/X（10.0.4～10.2.6）

※オープン価格

使用上のご注意

▶ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■避けて欲しい場所
次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。
- ●雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- ●直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- ●極端に寒いところ
- ●振動の激しいところ
- ●油煙や湯気の当たるところ
- ●強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- ●防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意
水や砂は本機の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意
本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、xD-ピクチャーカード に水滴がつくことがあります。このようなときは xD-ピクチャーカード を取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは
本機を長時間お使いにならないときは、バッテリー、xD-ピクチャーカード を取り外して保管してください。

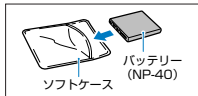
■カメラのお手入れ
- ●レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- ●レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- ●カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■海外で使うとき
- ●このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- ●海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

電源についてのご注意

バッテリー NP-40についてのご注意

本機は、充電式リチウムイオンバッテリー NP-40を使用しています。ご使用に際しては、以下の点にご注意ください。特に別冊の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

＊NP-40は出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- ●NP-40を持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、付属の専用ソフトケースに入れてください。
- ●NP-40を保管するときは、付属の専用ソフトケースに入れて保管してください。

■バッテリーの特性
- ●NP-40は使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したNP-40を用意してください。
- ●NP-40を長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- ●寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備のNP-40をご用意ください。また、使用時間を長くするために、NP-40をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接NP-40に触れないようにご注意ください。低温時に消耗したNP-40を使用すると、カメラが作動しない場合があります。

■充電について
- ●カメラと付属のACパワーアダプターとクレードルを使用して充電できます。
  - ●充電は周囲の温度が0℃～＋40℃の範囲で可能です。使い切ったNP-40の＋23℃での充電時間は約2時間です。
  - ●充電は＋10℃～＋35℃の温度範囲で行ってください。＋10℃～＋35℃の温度範囲外で充電する場合、NP-40の性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。
  - ●0℃以下の温度では充電できません。
- ●別売のバッテリーチャージャー BC-65を使用して充電ができます。充電の際はBC-65に付属しているNP-40充電用アダプターを使用してください（詳細は使用説明書をご覧ください）。
  - ●充電は周囲の温度が0℃～＋40℃の範囲で可能です。使い切ったNP-40の＋23℃での充電時間は約90分です。
  - ●充電は＋10℃～＋35℃の温度範囲で行ってください。＋10℃～＋35℃の温度範囲外で充電する場合、NP-40の性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。
- ●NP-40は充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- ●充電が終わったあとや使用直後に、NP-40が熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- ●充電が完了したNP-40を再充電しないでください。

■バッテリーの寿命について
常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、NP-40の寿命です。新しいNP-40をお買い求めください。

電源についてのご注意

保存上のご注意

充電式リチウムイオンバッテリー NP-40は小形で高容量のバッテリーですが、充電された状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。

- しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 専用ソフトケースに入れて、涼しいところで保存してください。
  - 周囲の温度が＋15℃～＋25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
  - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

危険ですので、次のことにご注意ください

⚠バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。

⚠火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。

⚠分解したり、改造したりしないでください。

壊れたり、寿命が短くなったりしますので、次のことにご注意ください

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。

バッテリーの特性に合わせて上手にお使いいただくために、次のことにご注意ください

- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 温度が上がらない、乾燥した場所に保管してください。長期間高温の場所に置いておくと寿命が短くなります。

長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生にはACパワーアダプターをお使いください。

■電池の破棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■小形充電式電池のリサイクルについて

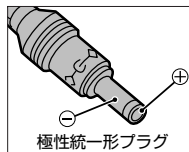
小型充電式電池（リチウムイオンバッテリーなど）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。

詳細は、「有限責任中間法人JBRC」のホームページをご参照ください。

［ホームページ］ http://www.JBRC.com/

付属のNP-40の主な仕様

公称電圧	3.7V
公称容量	710mAh
使用温度	0℃～＋40℃
本体外形寸法	35.3mm×40mm×6mm（幅×高さ×厚み）
質量	約20g

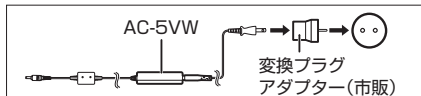
ACパワーアダプターについてのご注意

極性統一形プラグ

必ず専用のACパワーアダプター AC-5VW（JEITA規格、極性統一形プラグ付き）をお使いください。

弊社専用品以外のACパワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。

- 室内専用です。
- クレードルのDC入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- クレードルのDC入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- ACパワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、ACパワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

海外へお持ちになる方へ

定格表示が、AC100V～240V、50/60Hzと表示されているACパワーアダプターは、世界中のほとんどのホテルおよび家庭用電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地様々ですので、お出かけ前には旅行代理店などでお確かめください。

ACパワーアダプターを海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器」などに接続しますと、故障することがありますので、ご使用にならないでください。

AC-5VWの主な仕様

電源	AC100V～240V 50/60Hz
定格入力容量	16VA～20VA（入力100V～240V、定格出力時）
定格出力	DC 5V、1.5A
使用温度	0℃～＋40℃
最大外形寸法	40mm×21mm×79mm（幅×高さ×奥行き）
質量	約110g（コンセントケーブル除く）
全長	約2.2m

xD-ピクチャーカード™についてのご注意

■ xD-ピクチャーカード について
デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体xD-Picture Card (xD-ピクチャーカード) です。
xD-ピクチャーカード の中には、半導体メモリー(NAND型フラッシュメモリー) が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像ファイルが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像ファイルを消去したり、再び記録することができます。

■ファイル保持について
以下の場合、記録したファイルが消滅(破壊)することがあります。記録したファイルの消滅(破壊)については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
＊お客様または第三者が xD-ピクチャーカード の使いかたを誤ったとき
＊カメラやパソコンなどから xD-ピクチャーカード へアクセス中(データ通信中など)にカードを取り出したり、機器の電源を切ったとき
＊その他、誤った使いかたをしたとき

大切なファイルは別のメディア(MOディスク、CD-R、CD-RW、ハードディスクなど)にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意
● xD-ピクチャーカード は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
● xD-ピクチャーカード をカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
● xD-ピクチャーカード の記録中、消去(フォーマット)中は、絶対に xD-ピクチャーカード を取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。 xD-ピクチャーカード が破壊されることがあります。
●指定以外の xD-ピクチャーカード はお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
● xD-ピクチャーカード は精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
●強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
●高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用、保管は避けてください。
● xD-ピクチャーカード の接触面(金色の部分)がゴミや皮脂などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布などでふいてください。
●保管や持ち運びする場合は専用ケースか専用キャリングケースに入れることをおすすめします。
●静電気を帯びた xD-ピクチャーカード をカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
●ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
●長時間お使いになったあと、取り出した xD-ピクチャーカード が温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
● xD-ピクチャーカード には寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このときは新しいものをお買い求めください。
● xD-ピクチャーカード にはラベル類は一切はらないでください。 xD-ピクチャーカード の出し入れの際、故障の原因になります。
●万一、弊社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しい xD-ピクチャーカード とお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■ xD-ピクチャーカード をパソコンで使用する場合のご注意
●パソコンで使用したあとの xD-ピクチャーカード を使って撮影する場合、 xD-ピクチャーカード のフォーマットはカメラで行ってください。
● xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
●パソコンで xD-ピクチャーカード のフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。 xD-ピクチャーカード がカメラで使用できなくなることがあります。
● xD-ピクチャーカード 上の画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
●画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像ファイルを編集してください。

xD-ピクチャーカード™の主な仕様

形　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード xD-Picture Card (xD-ピクチャーカード)
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～+40℃ 湿度 80%以下(結露しないこと)
外形寸法	25mm×20mm×2.2mm (幅×高さ×厚み)

警告表示

▶液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処　　置
(赤点灯) (赤点滅)	カメラのバッテリーの残量が減っている、またはない。	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。
!	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態。	ストロボ撮影してください。 三脚の使用をおすすめします。
!AF	AF(オートフォーカス)がうまく働かない。	●暗い場合は被写体から2m程度離れて撮影してください。 ●AFロック撮影をしてください。
!AE	AE連動範囲外。	撮影できますが、適正露出ではありません。
フォーカスエラー ズームエラー	カメラが誤作動または故障している。	●レンズ部に触らないようにして、電源を入れ直してください。 ●電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
カードがありません	xD-ピクチャーカード が入っていない。	xD-ピクチャーカード をセットしてください。
フォーマットされていません	● xD-ピクチャーカード がフォーマット(初期化)されていない。 ● xD-ピクチャーカード の接触面(金色の部分)が汚れている。 ●カメラが故障している。	● xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットしてください。 ● xD-ピクチャーカード の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は xD-ピクチャーカード を交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
カードエラー	● xD-ピクチャーカード の接触面(金色の部分)が汚れている。 ● xD-ピクチャーカード が壊れている。 ● xD-ピクチャーカード のフォーマットが異常。 ●カメラが故障している。	● xD-ピクチャーカード の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は xD-ピクチャーカード を交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
空き容量がありません	xD-ピクチャーカード に空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のある xD-ピクチャーカード を使用してください。
コマNO.の上限です	コマNO.が999-9999に達している。	① フォーマットした xD-ピクチャーカード をカメラにセットします。 ② SET-UPメニューでコマNO.を「新規」にします。 ③ 撮影します(コマNO.が「100-0001」より開始されます)。 ④ SET-UPメニューでコマNO.を「連番」にします。
記録できませんでした	● xD-ピクチャーカード と本体の接触異常または xD-ピクチャーカード の異常のため記録できない。 ●撮影した画像が xD-ピクチャーカード の空き容量を超えて記録できない。	● xD-ピクチャーカード を入れ直すか電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ●新しい xD-ピクチャーカード を使用してください。
再生できません	●正常に記録されていないファイルを再生しようとした。 ● xD-ピクチャーカード の接触面(金色の部分)が汚れている。 ●カメラが故障している。 ●本機以外で記録した動画を再生しようとした。	●再生することはできません。 ● xD-ピクチャーカード の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は xD-ピクチャーカード を交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ●再生することはできません。

警告表示	警告内容	処　　置
プロテクトされています	●プロテクトされているファイルを消去しようとした。 ●プロテクトされているファイルにボイスメモを付けようとした。	●プロテクトしたファイルは消去できません。プロテクトを解除してください。 ●プロテクトしたファイルにボイスメモは付けられません。プロテクトを解除してください。
これ以上予約できません	DPOFのコマ設定で1000コマ以上のプリント指定をした。	同一 **xD-ピクチャーカード** 内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。別の **xD-ピクチャーカード** にプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
ボイス再生できません	●ボイスメモファイルが異常。 ●カメラが故障している。	●ボイスメモを再生することはできません。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
設定できません 設定できません	プリント予約できない画像をプリント予約しようとした。	画像の形式上プリント予約できません。
03M トリミングできません	0.3Mの画像をトリミングしようとした。	トリミングはできません。
トリミングできません	●本機以外で撮影した画像をトリミングしようとした。 ●画像が壊れている。	トリミングはできません。
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができなかった。	●FinePix F455専用USBケーブルの接続を確認してください。 ●プリンターの電源が入っているか確認してください。
プリンターエラー	PictBridgeに関する表示。	●プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。 ●プリンターの電源をいったん切ってから、再度入れてください。 ●お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。
プリンターエラー 再開しますか？	PictBridgeに関する表示。	プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は “MENU/OK” ボタンを押して、プリントを再開してください。
プリントできません	PictBridgeに関する表示。	●お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターがJFIF-JPEG、Exif-JPEG形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 ●本機で撮影したデータですか？ 本機で撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリントできない コマです	PictBridgeに関する表示。	●動画はプリントできません。 ●本機で撮影したデータですか？ 本機で撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリンター優先操作中 （予約プリント中）	PictBridgeに関する表示。	PictBridge対応の弊社製プリンターからプリント操作を行ったときに表示されます。詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。

困ったときは

▶故障とお考えになる前に、もう一度お調べください。処置を行っても改善されない場合は弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
充電しようとしたが、ファインダーランプが点灯しない。	●バッテリーが入っていない。 ●ACパワーアダプターが正しく接続されていない。	●バッテリーを入れてください。 ●正しく接続してください。
充電時にファインダーランプが点滅して充電できない。	●バッテリーの端子が汚れている。 ●バッテリーの故障もしくは寿命。	●バッテリーをいったん取り出して入れ直してください。 ●バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。 ●新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サービスステーションにお問い合わせください。
電源が入らない。	●バッテリーが消耗している。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。 ●バッテリーが逆に入っている。 ●バッテリーカバーが正しく閉まっていない。	●充電済みのバッテリーと交換してください。 ●電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ●バッテリーを正しい方向に入れてください。 ●バッテリーカバーを正しく閉めてください。
電源が途中で切れる。	バッテリーが消耗している。	充電済みのバッテリーと交換してください。
バッテリーの消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。 ●バッテリーの寿命。	●バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。 ●バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。 ●新しいバッテリーと交換してください。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	● **xD-ピクチャーカード** が入っていない。 ● **xD-ピクチャーカード** に空き容量がなく、これ以上記録できない。 ● **xD-ピクチャーカード** がフォーマットされていない。 ● **xD-ピクチャーカード** の接触面（金色の部分）が汚れている。 ● **xD-ピクチャーカード** が壊れている。 ●オートパワーオフになり、電源が切れた。 ●バッテリーが消耗している。	● **xD-ピクチャーカード** を入れてください。 ●新しい **xD-ピクチャーカード** を入れるか、不要なコマを消去してください。 ●カメラでフォーマットしてください。 ● **xD-ピクチャーカード** の接触面を乾いたきれいな布でふいてください。 ●新しい **xD-ピクチャーカード** を入れてください。 ●電源を入れてください。 ●充電済みのバッテリーと交換してください。
ストロボ撮影ができない。	●ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。 ●撮影モードが“▲”風景に設定されている。	●ストロボの充電が完了してからシャッターボタンを押してください。 ●撮影モードを変更してください。
ストロボの設定を制限されて選べない。	撮影モードが“▲、🏃、☾★”に設定されている。	シーンに合わせた設定になるため制限されます。ストロボの設定を重視するときは撮影モードを変更してください。
ストロボが発光したのに撮影した画像が暗い。	●被写体が遠い。 ●ストロボに指が掛かっている。	●ストロボ撮影可能距離内で撮影してください。 ●カメラを正しく構えてください。
画像がぼやけている。	●レンズが汚れている。 ●マクロを設定したまま、遠景を撮影した。 ●マクロを設定しないで、近距離を撮影した。 ●オートフォーカスの苦手な被写体を撮影した。	●レンズを清掃してください。 ●マクロを解除してください。 ●マクロを設定してください。 ●AF/AEロック撮影をしてください。
画像に点状のノイズがある。	気温が高い環境でスローシャッター（長時間露光）で撮影した。	CCDの特性によるもので故障ではありません。
カメラから音が出ない。	●カメラの音量設定が小さくなっている。 ●撮影/録音中にマイクをふさいでいる。 ●再生中にスピーカーをふさいでいる。	●音量を調節してください。 ●撮影/録音時はマイクをふさがないでください。 ●スピーカーをふさがないでください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
1コマ消去でコマが消せない。	コマがプロテクトされている。	プロテクトしたカメラでプロテクトを解除してください。
全コマの消去で、すべてのコマが消せない。		
液晶モニターに日本語以外の言語が表示される。	SET-UPの「言語/LANG.」で日本語以外の言語が設定されている。	①“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。 ②“◀▶”を押して“SET”を選び、“▲▼”を押して“SET-UP”を選びます（“MENU/OK”ボタンを押すと、SET-UP画面が表示されます）。 ③“◀▶”で見出し番号3に切り換え“▲▼”で「言語/LANG.」を選択します。 ④“◀▶”を何回か押して「日本語」に変更します。 ⑤“MENU/OK”ボタンを押します。
テレビに画像、音声が出ない。	●動画再生中に専用A/V（音声/映像）ケーブルを接続した。 ●クレードルとテレビの接続が間違っている。 ●テレビの入力が「テレビ」になっている。 ●ビデオ出力が“PAL”になっている。 ●テレビの音量が小さくなっている。	●動画再生を停止させてから、クレードルに接続し直して再生してください。 ●正しく接続し直してください。 ●テレビの入力を「ビデオ」にしてください。 ●“NTSC”に設定してください（➡P.58）。 ●音量を調節してください。
テレビの画像が黒白になる。	ビデオ出力が“PAL”になっている。	“NTSC”に設定してください（➡P.58）。
PC（パソコン）接続で、カメラの液晶モニターに撮影または再生画面が表示される。	●PCまたはクレードルにFinePix F455専用USBケーブルが正しく接続されていない。 ●PCの電源が入っていない。	●正しく接続してください。 ●PCの電源を入れてください。
カメラのスイッチを操作しても作動しない。	●カメラの誤作動。 ●バッテリーが消耗している。	●バッテリー、クレードルをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。 ●充電済みのバッテリーと交換してください。
カメラが正常に作動しなくなった。	カメラが予期しない状態になっている。	バッテリー、クレードルをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
PictBridgeでプリントできない。	SET-UPのUSB設定が“⎙⇋”になっていない。	SET-UPのUSB設定を“⎙⇋”にしてください。
USB設定が“⎙⇋”のままパソコンに接続した。		下記手順に従いカメラをパソコンから取り外してください。 ●Windowsの場合 ①「新しいハードウェア」（または「スキャナとカメラ」）ウィザードが表示されます。 ウィザードが表示されない場合は、③に進んでください。 ②[キャンセル]ボタンをクリックします。 ③パソコンからカメラを取り外します。 ●Macintoshの場合 ①ドライバを探す画面などが表示されます。 画面が表示されない場合は、③に進んでください。 ②[キャンセル]ボタンをクリックします。 ③パソコンからカメラを取り外します。

主な仕様

システム

型式	デジタルカメラ
有効画素数	520万画素
撮像素子	1/2.5型正方画素インターライン方式CCD（総画素数：536万画素）
記録メディア	xD-ピクチャーカード 16/32/64/128/256/512MB
記録方式	静止画：DCF準拠（Exif Ver.2.2 JPEG準拠）/DPOF対応 動　画：DCF準拠（AVI形式 Motion JPEG） 音　声：WAVE形式、モノラル
記録画素数（ピクセル）	静止画：2592×1944/2048×1536/1600×1200/640×480 （5M/3M/2M/03M） 動　画：320×240（10フレーム/秒） 160×120（10フレーム/秒）
レンズ	フジノン光学式3.4倍ズームレンズ 開　放：F2.8～F5.5
焦点距離	f=6.3mm～21.6mm （35mmフィルム換算：38mm～130mm相当）
フォーカス	TTLコントラスト方式　オート
デジタルズーム	3M：約1.3倍/2M：約1.6倍/03M：約4.1倍 （光学3.4倍ズームと併用　最大約13.8倍）
撮影可能範囲	標　準：約60cm～∞ マクロ：約9cm～約80cm（広角側）、約39cm～約80cm（望遠側）
シャッタースピード	2秒～1/2000秒（メカニカルシャッター併用）
絞り	F2.8～F7.4　自動切り換え
撮影感度	撮影モード A時：AUTO(ISO80～400､撮影条件により範囲が異なります)、 ISO 80/100/200/400 撮影モード M、、、、時：ISO 80/100/200/400
測光方式	TTL64分割測光
露出制御	プログラムAE
露出補正	−2.1EV～＋1.5EV　0.3EVステップ（M時）
ホワイトバランス	撮影モード A、、、、時：オート 撮影モード M時：7ポジション選択可能
ファインダー	実像式光学ズームファインダー　視野率 約78%
液晶モニター	2.0型（対角約5.1cm）約15.4万画素 低温ポリシリコンTFT　視野率 約97%
ストロボ	方式：CCD調光によるオートストロボ 撮影可能距離：広　角：約 60cm～約3.6m 望　遠：約 60cm～約2m マクロ：約 30cm～約80cm 発光モード：オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止/スローシンクロ/ 赤目軽減+スローシンクロ
セルフタイマー	約10秒
撮影時機能	ベストフレーミング、コマNO.メモリー
再生時機能	トリミング、オートプレイ、マルチ再生、ボイスメモ
その他の機能	PictBridge対応、Exif Print対応、PRINT Image Matching II 対応、言語設定（日本語、ENGLISH、FRANCAIS、DEUTSCH、ESPAÑOL、中文）、世界時計（時差設定）、ファインピックスフォトモード、WEB カメラ機能

入、出力端子

外部接続端子	クレードル接続

電源部、その他

電源	充電式バッテリーNP-40（付属）
使用条件	温度0℃～+40℃　湿度80%以下（結露しないこと）
バッテリー作動可能枚数（フル充電時）	（下表参照）

バッテリー	撮影枚数
NP-40	約180枚

CIPA（カメラ映像機器工業会：Camera & Imaging Products Association）規格による電池寿命測定方法（抜粋）：バッテリーは付属のものを使用。記録メディアは **xD-ピクチャーカード** を使用。液晶モニターON、温度（23℃）、30秒毎に1回撮影、撮影ごとに光学ズームを広角側と望遠側で交互に繰り返して端点まで移動し、2回に1回ストロボをフル発光、10回に1回電源OFF/ONして撮影。

●注意：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。

本体外形寸法	92.6mm×56.4mm×21.9mm（幅×高さ×奥行き）＊付属品、突起部含まず
本体質量	約140g（付属品、バッテリー、 **xD-ピクチャーカード** 含まず）
撮影時質量	約160g（バッテリー、 **xD-ピクチャーカード** 含む）
付属品	5ページをご覧ください。
別売アクセサリー	74ページをご覧ください。

クレードル

クレードル外形寸法	100mm×40.3mm×50.6mm（幅×高さ×奥行き）
クレードル質量	約60g

■ xD-ピクチャーカード 標準撮影枚数/記録時間

撮影枚数/記録時間/ファイルサイズは被写体により多少の増減があります。また、実際の撮影枚数は **xD-ピクチャーカード** の容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	5M F	5M N	3M	2M	03M	動画 320	動画 160
記録画素数	2592×1944（約504万）		2048×1536（約315万）	1600×1200（約192万）	640×480（約31万）	320×240	160×120
画像1枚のファイルサイズ	2.5MB	1.3MB	780KB	630KB	130KB	—	—
DPC-16（16MB）	6	12	19	25	122	1分34秒	4分48秒
DPC-32（32MB）	12	25	40	50	247	3分09秒	9分42秒
DPC-64（64MB）	25	50	81	101	497	6分21秒	19分29秒
DPC-128（128MB）	51	102	162	204	997	12分44秒	39分03秒
DPC-256（256MB）	102	204	325	409	1997	25分30秒	78分11秒
DPC-512（512MB）	205	409	651	818	3993	51分00秒	156分20秒

＊仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
＊レンズの特性により、撮影した画像の端がゆがむ場合がありますが、故障ではありません。

用語の解説

EV
: 露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。
CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。

Exif（イグジフ）ファイル形式
: Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCFがJEITA規格になっています。

JPEG（ジェイペグ）
: Joint Photographic Experts Groupの略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

Motion JPEG（モーション ジェイペグ）
: 画像と音声の両方をひとつのファイルで扱うためのファイルフォーマットAVI（Audio Video Interleave）形式の1種類であり、ファイル内の画像はJPEG形式で記録されています。
パソコンでは下記のソフトで再生できます。
Windows　：Windows Media Player　＊DirectX8.0以降必要
Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降

WAVE（ウェイブ）
: 音声を保存するためのWindowsにおける標準フォーマットで、拡張子は“.WAV”です。
記録形式には非圧縮記録と圧縮記録があります。本機では非圧縮記録を採用しています。
パソコンでは下記のソフトで再生できます。
Windows　：Windows Media Player
Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降

ホワイトバランス
: 人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。

スミア
: 撮影画面内に太陽やその反射光など非常に明るい輝点があるときに、画像に白いスジが写るCCD特有の現象。

フレームレート
: フレームレートとは1秒間に撮影または再生される画像の数（コマ数）を表す単位で、例えば1秒間に10コマを連続して撮影している場合は10フレーム/秒と記します。
参考　テレビは約30フレーム/秒です。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。この期間は保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。
使いかたの問題か、故障か迷うときは、弊社FinePixサポートセンターへお問い合わせください。

■故障と思われるときは

弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。依頼方法は、下記の中からお客様のご都合によりお選びください。

①FinePixクイックリペアサービスをご利用いただく
②弊社サービスステーションにお持ちいただく（持込修理）お急ぎのお客様は「FinePix特急修理30分」をご利用ください。
③弊社サービスステーションに宅配便などで送付いただく（送付修理）
④お買上げ店にお持ちいただく

なお、集配ルートの都合上、④の方法よりは、①もしくは②、③の方法が、お預かりの期間は短くなります。
上記①の場合のサービス料金、②④の場合の交通費、③の場合の送料などの諸費用はお客様にてご負担願います。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 保証規定による修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または弊社サービスステーションにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。
- 修理品の持込修理/送付修理を弊社サービスステーションに依頼される場合には、「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
- 修理料金のお見積もりをご希望の場合は、「修理依頼票」の「お見積もり」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。なお、お見積もりは有料となります。
- 落下、衝撃、砂、泥かぶり、冠水、浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合は、修理をお断りする場合があります。

■修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■交換した部品について

交換した部品は、今後の品質向上に役立てるため、弊社にて引き取らせていただいております。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

■修理料金の支払い方法について

①FinePixクイックリペアサービスをご利用いただいた場合
修理完了品は、代金引換となりますので、サービス料金とともに、運送業者に直接現金でお支払いください。
②弊社サービスステーションにお持ちいただいた場合（持込修理、特急修理30分）
修理完了品お引き取り時、窓口でお支払いください。
③弊社サービスステーションに宅配便などで送付いただいた場合（送付修理）
修理完了品は、代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。
④お買上げ店にお持ちいただいた場合
お持ちいただいたお店にご確認ください。

アフターサービスについて

■修理の受付は…

修理品の「FinePix特急修理30分」、「FinePixクイックリペアサービス」、「持込修理」、「送付修理」の申し込み方法、受付場所を記載します。
下記に記載する修理サービスにおける修理品お預かり期間は、お買上げ店へお持ちいただく場合よりも、はるかに短くなります。

●【FinePix特急修理30分】：30分を目安にその場で修理を行う持込修理サービスです。

・下記7カ所の富士フイルムサービスステーションに直接お越しいただいたお客様を対象に、30分を目安にその場で修理し、お渡しするサービスです。
・専任技術者が対応しますので、迅速な修理を行うことができます。
・特急修理のための特別なサービス料金は不要。ただし有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。修理料金は、修理完了品お引き取り時にサービスステーション窓口でお支払いください。
・本書に地図の記載がないサービスステーション所在地は、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/ss）をご覧ください。
※本サービスの詳細は、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/faq/fxts30/index.html）をご覧ください。

東　京：富士フイルムサービスステーション	〒105-0022	東京都港区海岸1-9-15　竹芝ビル	TEL（03）3436-1315
札　幌：富士フイルムサービスステーション	〒060-0002	札幌市中央区北2条西4-2　札幌三井ビル別館	TEL（011）222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション	〒980-0811	仙台市青葉区一番町4-6-1　仙台第一生命タワービル	TEL（022）265-2149
名古屋：富士フイルムサービスステーション	〒460-0008	名古屋市中区栄1-12-19	TEL（052）202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション	〒541-0051	大阪市中央区備後町3-2-8　大阪長谷ビル	TEL（06）6260-0915
広　島：富士フイルムサービスステーション	〒732-0816	広島市南区比治山本町16-35　広島産業文化センター	TEL（082）256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション	〒812-0018	福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-4863

●【FinePixクイックリペアサービス】：お預かりからお届けまでが3日の宅配修理サービスです。

・「お預かり」-「梱包」-「修理」-「お届け」までをワンパックにしたサービスです。
・当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了後にご自宅までお届けします。
・全国一律のサービス料金（保証期間内外を問わずお客様にご負担いただきます。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です）。
・料金の支払いは、修理品お届け時に、当社指定宅配業者に直接現金でお支払いください。
・サービスの申し込みは、インターネット、電話、ファクスのいずれかの方法から選択してください。
＊インターネット：http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php　＊専用電話：03-3436-2224　＊専用ファクス：03-3431-3470

●【持込修理】：サービスステーションに直接お持ちいただく場合

・上記7カ所のサービスステーションで受け付けております。お持ちいただく際には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・有償修理の場合の修理料金は、修理完了品お引き取り時、サービスステーション窓口でお支払いください。

●【送付修理】：サービスステーションに直接送付いただく場合

・上記7カ所のサービスステーションで受け付けております。送付時には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・有償修理の場合の修理料金は、代金引き換えとなりますので、修理完了品運送業者に直接お渡しください。

■修理に関する情報は…

●修理サービスQ&A

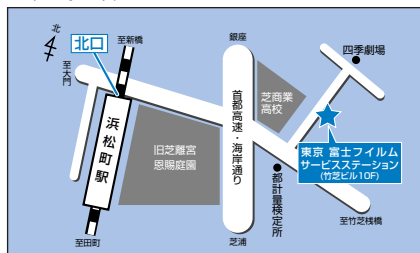
・修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。
※詳細は弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/faq/after/index.html）をご覧ください。

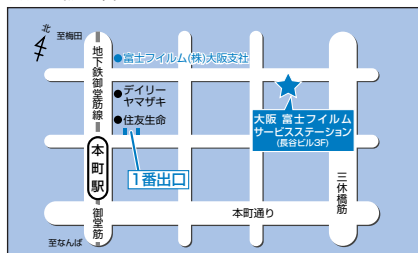
●修理納期検索サービス

・東京もしくは大阪のサービスステーションに、修理品を送付あるいは持ち込みされた場合に限り、弊社ホームページ（http://repairlt.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp）で修理完了予定日を検索することができます。

●FinePix修理概算見積もりサービス

・弊社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金が、インターネット上で無料で算出することができます。
※本サービスの詳細は弊社ホームページ（http://repairlt.fujifilm.co.jp/estimate/index.php）をご覧ください。

★東　京：富士フイルムサービスステーション

JR山手線浜松町駅北口下車　徒歩5分
TEL（03）3436-1315
【受付時間】
月～金　午前 9：00～午後5：40
土　　　午前10：00～午後5：00

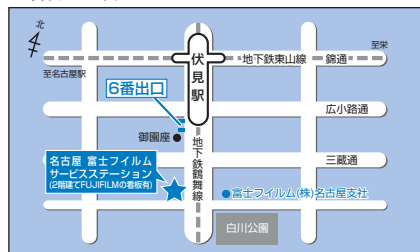
★大　阪：富士フイルムサービスステーション

地下鉄御堂筋線本町駅1番出口下車　徒歩5分
TEL（06）6260-0915
【受付時間】
月～金　午前 9：00～午後5：40
土　　　午前10：00～午後5：00

FinePix F455　修理依頼票

※弊社サービスステーションに故障品の送付あるいはお持込みの際には、お手数をおかけして申し訳ありませんが、迅速、適切な修理をするために必要事項をご記入の上、製品に添付してください。
※下表の□は、該当する項目にチェック(✓)を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お名前		ファクス番号	
ご住所	〒　　—		
ボディ番号(機番) 保証書あるいは本体底面に記載してある8けたの番号です。 修理お問い合わせ時にご連絡ください。	No.		
修理品への添付	□保証書　□xD-ピクチャーカード(　　MB)　□電池 □(　　)　□(　　) □(　　)　□(　　)		
故障内容(故障時の様子や発生頻度、症状など具体的にご記入ください)			
お見積もり	□インターネットでの修理概算見積もりサービスを使用したので不要 (使用結果を下段にご記入ください) □必要(修理金額　　円以上見積もり)　□不要		
修理概算見積もりサービス使用結果 ※インターネットで見積もりサービスを使用された場合にご記入ください。	故障現象： 修理費用：		
お見積もり連絡方法	□電話　□ファクス		

※本紙は拡大コピーしてお使いください。

★名古屋：富士フイルムサービスステーション

地下鉄東山線伏見駅6番出口下車　徒歩5分
TEL (052) 202-1851
【受付時間】
月～金　午前 9：00～午後5：40
土　　　午前10：00～午後5：00

FUJIFILM　　富士写真フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは…

富士フイルムFinePixサポートセンター

ナビダイヤル（市内通話料でOK®） 0570-00-1060 / 携帯電話・PHSからは 0424-81-1673

市内通話料金でご利用いただけます

月曜日～金曜日 午前9：00～午後5：40 土曜日 午前10：00～午後5：00 日祝祭日 休み

※曜日、時間帯によっては電話がかかりづらい場合がありますのでご了承ください。

FAX 0424-81-0162

受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

●本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/

弊社ホームページの自己解決に役立つ「Ｑ＆Ａ検索」もご利用ください。

●修理の受付は…

富士フイルムサービスステーションでは、お客様の利便性向上のため各種の修理サービスを用意しております。
お気軽にご利用ください。

■お急ぎの場合は、全国どこからでも

【FinePix クイックリペアサービス】：お預かりからお届け迄が3日の宅配修理サービス

■お近くにサービスステーションがあれば

【FinePix 特急修理30分】：30分を目安にその場で修理を行う持込修理サービス

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日 午前9：30～午後5：00）TEL 03-3406-2982

この用紙は、再生紙を使用しています。

FGS-406109-FG